

令和6年度 第2回守口市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会

日 時 令和6年7月4日(木) 午後2時00分～
場 所 守口市役所 教育委員会会議室
出席者 委員長 水川 登志雄 守口市教育委員会事務局教育監(兼)教育部長
副委員長 千石 仮名江 守口市立第一中学校 校長
委員 水野 敦夫 守口市教育委員会事務局教育部学校教育課長
委員 佐々木 幸子 守口市教育センター長
委員 森尾 輝義 守口市立八雲中学校 教頭
委員 横山 淳 保護者
委員 杉本 由美子 保護者

○事務局 では、ここからは水川委員長に進行をお譲りいたします。水川委員長、よろしくお願ひいたします。

○委員長 はい、承知しました。

こんにちは。本日は、大変お忙しい中お集まりいただきまして、どうもありがとうございます。

私たち、選定委員会の任務は、来年度、中学校及び義務教育学校後期課程の生徒が使用する教科書の採択を、適正かつ公正に行えるよう、守口市教育委員会の諮問に基づいて、綿密な調査・研究及び検討を行い、答申を行うことにあります。

つきましては、机上でございます調査・研究資料を元に審議を行い、御意見を頂戴できればと考えております。資料の中身は、任命された調査員が、全ての見本本について、府の選定資料等を参考にしながら調査・研究し、まとめたものでございます。私たちは、この調査・研究資料を元に、教育委員会の諮問事項に沿いながら検討し、答申を出さなければなりません。どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、本日の会議の進め方についてですが、まず最初に、事務局より現在までの教科書採択に係る経緯等を報告いただき、皆様に御確認いただくとともに、御意見等がありましたら出していただきたいと思ひます。その後、審議に入っていただきたいと思ひます。審議の方法につきましては、後ほど御提案させていただきますと思ひます。

それではまず、事務局よりこれまでの経緯等の説明をお願ひいたします。

○事務局 失礼いたします。

それでは、これまでの経緯及び留意点等について御説明を申し上げます。

まず資料については、次第に記入のとおり5点でございます。資料に不足がないか、御確認ください。全て水色のファイルのほうに綴じております。

では、これまでの経緯について御説明申し上げます。

まず確認でございますが、令和6年5月29日(水)に第1回選定委員会を開催し、委員の任命・委嘱及び委員長・副委員長の選定を行いました。また、教育委員会から選定委員会への諮問が行われております。

また、その後の選定委員会では、先ほど委員長からもありました選定委員会の任務の確認、調査員の種目ごとの人数の決定、調査項目の検討等について御審議をいただきました。それらを受けまして、事務局にて説明資料等を作成し調査員へ配付することで、内容の共有を十分図った上で、種目ごとに調

査・研究を進めていただきました。

その中で、守口市の基本的な4つの視点で調査・研究をしていただくことを伝えるとともに、調査に当たっての留意事項、①全ての教科書についての調査・研究に基づく資料を作成すること、②綿密かつ公正な調査・研究による適切な資料を作成すること、③誤字、脱字、不適切な表現に対する配慮を行うことなど、約1か月間の中で種目ごとに複数回の会合を持ち、慎重に検討を重ねていただいた上で、最終の調査・研究のまとめが行われ、調査報告書が提示されております。

また、中学校等では、5月31日から6月24日の間、教科用図書の移動展示をいたしました。その際、学校にも意見の提出ができる旨通知し、報告を受けております。同様に、守口市教育研究会にも意見の提出ができる旨通知しております。

加えまして、守口市教科書センターにおきましても、6月12日から7月12日までの間、教科書の展示会を開催し、市民等の方々にも教科書を御覧いただいているところです。

経緯としましては、おおむね以上でございます。

次に、本日お配りいたしました資料について、御説明申し上げます。

まず、資料3点目の「令和7年度使用教科用図書中学校調査報告書（写し）」を御覧ください。

「令和7年度使用教科用図書中学校調査報告書」、調査報告書の1から6は、各種目に共通の観点です。それぞれの項目で、全ての教科書を調査・研究し、特徴を調査事項として記入しております。

次に、「令和7年度使用教科用図書中学校意見書」を御覧ください。こちらは、学校への巡回展示において教職員の意見をまとめたものでございます。

また、本日は見本本を委員の皆様分用意しておりますので、諮問事項にございます守口の教科書採択における基本的な4つ視点を踏まえ、報告書に照らして御覧の上、御検討のほどよろしくお願いいたします。

事務局から経緯の報告及び資料の説明につきましては、以上でございます。

○委員長 ありがとうございます。

ただいまの報告等につきまして、何か御質問はございませんでしょうか。事務局の説明、大体的様子はお分かりいただけたかなと思います。

そこで、答申書を作成するに当たり、どのような検討をここで加えるかということですが、どなたか御提案のある方はいらっしゃいませんか。

○副委員長 委員長一任で。

○委員長 よろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○委員長 委員長一任のお声がございましたので、私から、一つ御提案をいたします。

先ほども申し上げましたように、各種目、全社分の資料が、今は並列的に並んでいる状態でございます。確かに綿密な調査・研究資料ですので、公正かつ適正な採択に資するものと言えます。ただし、このまま教育委員会に渡すわけにはいきませんので、前回までの採択に用いた方法といたしまして、教育委員会の諮問内容に照らして、これらの教科書を3つに分類してはどうかと考えます。

具体的に申しますと、守口の生徒が使用するのに、「最もふさわしい」と思われるもの、「よりふさわしい」と思われるもの、「ふさわしい」と思われるもの、というような分類にし、この結果を一覧表にして教育委員会に答申するというところで、皆様いかがでしょうか。

（異議なしの声あり）

○委員長 ありがとうございます。

それでは、事務局で特筆事項を記入する様式を作成しておりますので、事務局より配付の上、説明をお願いいたします。

○事務局　ただいま配付いたしました「令和7年度使用教科用図書の特別事項」について、各委員の皆様におかれましては、ぜひ実際に教科書を手にとって御覧になりながら、机上の調査報告書（写し）を元に、「特によい、優れている点」についてございましたら、この用紙に御記入いただければと考えております。また、選定一覧表も併せて配付しております。

なお、これらの用紙につきましては、会議終了後、回収させていただきます。

以上でございます。

○委員長　ありがとうございます。

なお、分類する教科書は原則1社にはせず複数の発行者を選定したいと思いますのですが、皆様よろしいでしょうか。

（異議なしの声あり）

○委員長　それでは次に、選定作業の日程について事務局から案はございますでしょうか。

○事務局　はい、では選定委員会日程を提案させていただきます。

選定委員会は、本日と11日木曜日の2日間、16日火曜日を予備日としております。

以上でございます。

○委員長　日程について事務局から案が出されましたが、本日と11日の2日間、16日を予備日としてはどうかということですが、それでよろしいでしょうか。

（異議なしの声あり）

○委員長　それでは、選定作業に入りますが、改めて教科書を閲覧する時間を取らせていただきたいと思っております。その際には、調査員からの報告書（写し）を御活用いただきながら閲覧をよろしくお願ひしたいと思います。その後、教科書について御意見をいただき、分類し、答申案が作成できるよう進めてまいりたいと思っております。

なお、今回選定の教科の順番について、事務局のほうから説明をしていただきたいと思っております。

○事務局　本日の種目の順番につきましては、事務局の国語及び書写担当者が不在のため、地理から順に進めてまいります。なお、国語、書写につきましては、11日の選定委員会に回させていただきますので、御了承ください。

○委員長　そのような流れでよろしいでしょうか。

（異議なしの声あり）

○委員長　それでは、まず「地理」から、既に今地理の教科書は配付されておりますが、皆様に閲覧いただく前に、簡単に事務局から各教科書の調査・研究内容の説明をお願いいたします。

【地理】

○事務局　失礼いたします。私のほうから地理の教科書について御説明申し上げます。

机上にもう配付はさせていただいておりますけれども、ちょっと積んでいる順番と説明の順番が前後することを御了承いただけたらと思っております。

1点目、「東京書籍」になります。5つの見方等により、生徒の学ぶ視点が明確化された教科書となっております。

続けて2点目になります。「教育出版」になりますけれども、学習に用いる用語が載って解説が丁寧になされた教科書となっております。

3点目、「帝国書院」になっております。地図帳の活用が示されておりまして、資料間のつながりがわかりやすい教科書となっております。

最後、「日本文教出版」になっております。地理的な見方や考え方の丁寧な説明とともに、各節・章の最後にまとめを想定したツールが示されておる教科書になります。

以上でございます。

なお、府選定資料、地理15ページ、例えば、構成内容のページ数やそのページ数の占める割合等を示されておりますので、御参考にしていただければと思います。以上です。

○委員長 ありがとうございます。それでは、これより10分程度、教科書を閲覧する時間をお取りしたいと思います。現在の時間が2時14分ぐらいですので24分ぐらいまで、はい、よろしくお願ひしたいなと思います。それでは閲覧のほうをお願いします。

○事務局 今お配りした用紙は、メモ用紙としてお使いいただけたらと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

(教科書閲覧)

○委員長 あと1分ぐらいでまとめてもらえたらと思います。

それでは、閲覧の時間を終えたいと思います。短い時間で申し訳ないですけども、ここからは委員の皆様にご意見をいただきながら進めてまいりたいと思いますが、皆様、いかがでしょうか。大体15分、10分から15分ぐらい、質疑をいただきたいと思います。

○委員 帝国書院なんですけど、この調査員のほうに書かれてありますように、この二次元コードのところにアニメーション支援、アニメーションによる学習支援が幾つかあって中身を拝見させてもらったんですけど、この経度とか緯度とかも紹介するのは、こういう絵だけじゃなくてアニメーションで見せているのはすごく分かりやすいなというふうに思いました。

○委員長 ありがとうございます。そのほかにもございますでしょうか。

○委員 いいですか。

○委員長 はい、どうぞ。

○委員長 私も帝国書院、地理って地図帳と連動してというのが、やっぱり一番いいかなって。ただ、地図がどうなっているのかちょっと分からないんですけども。地図といえば帝国という感じになってはいるんですけど、見たらコンテンツがすごくて。NHKと外部とを結んでいたりとか、これ自分で学習するにはもってこいかなという気はしました。

日本文教出版もまあまあ見やすいかなという気は。文章を同じところを開けて見てるんですけども、日本文教出版は、学習課題が必ず初めに載っていて、ここ日本文教出版は地理としての見方・考え方というのが必ず位置づけられていて、それが見開きに必ず載っているというところが、特徴かなと思います。

○委員長 ありがとうございます。そのほかにもございますでしょうか。

○委員 やっぱり地図帳との関連というのは非常に重要なというのが1点と。

もう一つは帝国書院が、詳しくは見てないですけど、日本の諸地域という割合が、教科書の割合がちょっと一番多い会社なので、まずは自国のことがしっかりと学べるということが重要なのかなというふうには、私自身感じています。

以上です。

○委員長 ありがとうございます。

そのほかにもいかがでしょうか。

○委員 教育出版ですけども、教育出版だけが、トップページにこの教科書の使い方が書いてあって、ほかのやつは最初に写真がだーっと並べていてその後には使い方が書いていたので、子どもらを考えたら最初に使い方を見てもらったほうが見やすいかなというような感じはします。

教育出版でいうと、地理の下のサブタイトルで「地域に学ぶ」というのがあるので、これは多分ほかの教科書とはちょっと違う観点かなというふうに思いました。ちょっと今、全部調べきれなくて見れ

なかったんですけども。

あとウクライナの問題を書いているのが、地図の話があったんですけど、ウクライナの地図って今どういう表現をしてるのかなってというのがちょっと気になって、クリミアからこっち側の、東のほうはもうロシア領になってるのかなとか、国際的には認められてないのでどうなってるのかなって、この取り上げ方がどうかと思って。帝国書院のトップページでウクライナの子どもたちが書かれてたり、教育出版もウクライナのことのちょっと表記があったなというふうに思いました。ちょっとすみません、調べ切れてなくて申し訳ない。

○委員長 いえいえ、ありがとうございます。そのほかにいかがでしょうか。

○委員 日本文教出版なんですけど、調査員の資料にもありますように、要所要所で思考ツールが示されたりしています。それとか、思考・判断・表現というつきたい力をマークにした上で例えば比較したりだとか、そういう何か物事の捉え方・考え方の型みたいなものをうまく社会の学習に当てはめながら、これって地理だけじゃなくて、世の中に出て育っていくときにも汎用的に必要な力なのかなって、その辺りうまいことちりばめられているような感じがしてよかったなと思います。

○委員長 分かりました。

そのほかにいかがでしょうか。どうぞ。

○委員 いいですか、すみません。これは質問なんですけど、全部の教科書が、最後のページで巻のところで、家畜と農産物の写真で同じなんです。全部レイアウトから何から。特に何かルールがあるんですか。

○事務局 いえ、ないと思います。

○委員 全部一緒なので。何なら写真も似たような感じの。これって取り決めなのか。

○委員 確かに。いや、面白い視点で。

○委員 確かにね、家畜と。

○委員 確かに言われてみれば、気づきませんでした。

○委員 全部そろえてる。何やろう、これ。

○委員 いやいや、多分、そんなないと思いますけど。

○委員 ちょっと私いろいろ見てみるんですけど、結構授業をやっていた感覚でいくと、これってどんな農作物になるのか、これってどんな生き物だっていう質問が結構出てくるのが非常に多いので、そういったところのニーズに応えられるような内容なのかなとは感じたところです。

○委員 資料集代わりにちょっと一番最後が見やすいというか。

○委員長 承知しました。そのほかございますでしょうか。

○委員 こういう1ページ目を開けたときに、帝国書院と日本文教出版なんかは、やっぱりこれからどんな社会を目指していくのかというのが見開きでどんと載っているのがすごくいいなと、分かりやすいなと。SDG sを絡めたりとかがあるのがいいなというふうに感じました。

○委員長 はい、ありがとうございます。

その辺でいうと、トップページに何を持ってくるかという、教育出版のほうは使い方を持ってきて、帝国書院、日本文教出版のほうはどちらかというこれからを目指していくものというので、2ページ目に次のページに使い方という、その考え方になるのかなと。ありがとうございます。

はい、どうぞ。

○委員 東京書籍ですけど、各編とか章とかの最初のところに「小学校で習った言葉」というのがキーワードとして羅列されていて、既習事項とのつながりとか、その辺りで子どもたちの知識・理解をつないでいくような、そういうヒントが示されていて、いいなと思います。

○委員長 ありがとうございます。

そのほかにございますでしょうか。

今議論のほうは10分間ぐらいたったんですけども、もうちょっと何か意見、ちょっとだけありますけど。もう少しお時間を取ったほうがよろしいでしょうか。よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○委員長 今のところをまとめる形でもよろしいですか。それかもうちょっと。まとめる形でよろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○委員長 では今のところ、ちょっと今御意見が多かったのが、帝国書院と日本文教出版が意見が多かったかなと思いますので、「最もふさわしい」というのが、帝国書院と日本文教出版。それから、教育出版のほうも意見がたくさんありましたので、「よりふさわしいもの」という形で教育出版。それから、東京書籍のほうも小学校で習ったことを復習できるということで、そういうことも含めて東京書籍、教育出版のほうは「よりふさわしいもの」という形の分類でいかがでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○委員長 はい、ありがとうございます。そういう分類で、今回地理のほうはさせていただきたいと思います。

【歴史】

続きまして、「歴史」の分野になります。

○委員長 では、閲覧いただく前に、事務局のほうから説明をよろしく申し上げます。

○事務局 それでは、「東京書籍」からでございます。「今までに学習してきた内容をテーマ別で振り返り、持続可能な社会の一員として学習したことをいかに生かしていくか」、そういうことが考えられるような工夫がなされております。

続いて、「教育出版」ですけれども、「二次元コード、コンテンツの中でクイズが用意されており、個別最適な学びや自学自習につながる工夫」がされております。

続いて、「帝国書院」ですけれども、「歴史の調べ方、まとめ方、発表の仕方にICTを用いたスライドの説明があり、ICTを用いた実践につながりやすい工夫」がされております。

続いて、「山川出版」ですけれども、「系統立てられており、取組がしやすい」というふうになっております。単なる穴埋めではなく、文章表現でまとめられるよう工夫されております。

続きまして、「日本文教出版」ですけれども、「単元を見通し、問いを確認するページが充実している」というのが特徴となっております。

続いて、「自由社」ですけれども、「学習する時代に出てくる用語の解説や歴史人物の言葉などが掲載されて、興味関心の向上につながるのではないか」というふうに考えられます。

続いて、「育鵬社」ですけれども、「他社にはない視点で、当時の西洋化の影響としてたくさんの外国人の関わりがある」というようなところが記載されております。その辺が特徴となっております。

それから、「学び舎」ですけれども、教科書のタイトルどおり、「人に着目した構成になっている」というところが特徴です。

続いて、「令和書籍」。「文章は情報量に富んでおり、まとまっております。これだけの情報量とまとまりのある文章というのは、なかなかネットとかでも得られない」というところが特徴となっております。

それから、府の選定資料のほうですけれども、歴史は25ページから掲載されておりますので、参考に御参照ください。

なおですね、育鵬社それから学び舎、令和書籍の3社につきましては、配付された見本本が少なかつ

たため、お机の間に配付させていただいております。共有で見ただけならと思いますので、よろしくお願いたします。

以上でございます。

○委員 もう一度、もう一度会社の名前を言ってもらってもいいですか。

○事務局 ごめんなさい。自由社ですね。自由社、学び舎、令和書籍。

○委員 そうですね、はい。

○事務局 申し訳ありません。

○委員長 ありがとうございます。

これより10分程度ということで、今40分ですので50分まで教科書を閲覧する時間を取りたいと思います。よろしくお願いたします。

○委員 委員長、多いのもうちょっと時間が欲しいです。

○委員長 分かりました。55分まで、15分間取りたいと思います。よろしくお願いたします。

(教科書閲覧)

○委員長 それでは、閲覧の時間を終えたいと思います。ここから委員の皆様へ御意見を頂戴したいと思います。よろしくお願いたします。

○委員 府の資料にもあるんですけども、二次元コードを掲載されている箇所が、東京書籍と日本文教出版が圧倒的にちょっと多いのが、すごくいいなというふうに思いました。東京書籍と日本文教出版です。

○委員長 東京書籍と日本文教出版ですね。東京書籍と日本文教出版が、二次元コードがたくさんあるということ。そのほかに。

○委員 東京書籍なんですけども、各章の最後に年表と発展的な学びのための学習方法のようなものが載っていて、各章の最後、どういうふうに自分で考えをまとめたらいのかというのが分かりやすく載ってるかなという印象を持ちました。

○委員長 ありがとうございます。そのほかに。

○委員 調査の報告でもあるんですけど、東京書籍のほうは、結構人権に関するものが載っているなって見て思いましたし、やっぱり二次元コードが見開きに必ずついていて、資料を拡大したりとかっていうのがすごく見やすくなっています。

もう一つ、帝国書院は、先ほどの地理と一緒にやはりこのQRを読み込むとコンテンツが充実していて自分で学ぶ仕組みになっています。タイムトラベルって自分で開いて自分で答えるようになっている。そういうコンテンツは、先ほどと同じで帝国書院、その内容が充実しているなっていう感じです。

○委員長 そのほかに。はい、どうぞ。

○委員 報告にもありますように、東京書籍、帝国書院、日本文教出版、見開きの右側に年表がだーってあって、今どの辺のことを勉強してるんだろうって、何か全体像の中のどの辺ということが自分だったらすごく把握しにくいので、これがあるとないでは大違いだなと。私これ絶対ないと自分が子どもやったら嫌、嫌なので、こういうの欲しかったと本当に思います。その三社。ほか、左下のページについてる会社さん、育鵬社もあったんですけど、この配置がナイスだなと思っています。

ついでにもう一つ、東京書籍、言っているいいですか。例えば、131ページとか41ページとか、スキルアップっていう小さい囲みがあるんですけど、どれもばーって見ると、例えばグラフにまとめようとか年表を書いてみようとかスライドにまとめてみようみたいな感じで課題が設定されてて、情報の整理・分析とかその辺りにすごくちょっとこだわってつくられてるなと思って、情報活用能力の育成とかにはとってもいいポイントだと思いました。

○委員長 分かりました。ありがとうございます。

さっきの右側に年表というのは、東京書籍と帝国書院と日本文教出版。

○委員 はい、そうです。

○委員長 ほかごございますでしょうか。たくさんあり過ぎてね。結構、全部同じようにも見えてしまうところも。

○委員 すみません。やっぱりこの書籍の話をせなあかんかなと思って。

○委員長 はい。

○委員 これは多分、今僕が読めばめっちゃ面白い、すごい面白いし、見たこともない資料もいっぱいあるし、これを授業でやるとなったときに、僕、多分先生が授業できないと思うんです。これ内容が。失礼な話、ちょっとここまで先生、歴史に精通してると思われないんですよ。

だから、例えばセンテンスごとにあるディベートしようっていう話、これまさに我々親がやってほしい学習で、習ったことについてみんなで議論をしようっていうことと、立場関係なしにアドバンテージと実際のアドバンテージいうところで役割を決めて、よかった、悪かったっていうのをみんなで話をするということなんですけどね。これを回せる先生が僕浮かばないですよ。失礼ながら、どうしてもこっち側の先生が少ないので、いやでもこれが本当、歴史の勉強と違うかなと思うけど、ちょっと早いかなど。この本、すごい面白いですよ。

僕どうしても金田一のほうばかり見ちゃうんですけど、この422ページのところなんですけど、これ議論を中学生にさせるって相当難しいですよ。

個別の意見はあかんのかも分らんけども、こういう経済に対する意見の試合をして、子どもたちにさせるっていうのは本当にいいことだなと思うし、これからを担う子どもたちなので、そういうディベート力っていうのは、海外の子っていうのはディベート力がすごいついていろんな議論とかができるのに、日本の子は黙ってるっていうようなことがあるので主張ができないっていうことなのでいいと思うんですけど。学校の先生にこのスキルというのはすごい難しいと思います。

○委員長 ありがとうございます。貴重な御意見、ありがとうございます。

○委員 僕は二重丸です。

○委員 先生方がしゃべるのは、それはそれで難しいと思います。

○委員長 どうですか。何か御意見、全体で、それじゃなくても別に構わないんですけども。

○委員 全体的には、後ろの地図がすごく気になって見とってんけど。

○委員長 はい。

○委員 この年表のこれとか見とったけど、全部が全部あれやなと思いながら。ただ一番見やすかったのが、この日本文教のこれが一番見やすかったんかなと思って。

○委員長 地図においてってことですね。日本文教出版。

○委員 時代名からもみんな載ってたから、まだ見やすいかなと思いながら、後ろの年表をずっと見てる。

○委員長 いやいや、ありがとうございます。

○委員 年表がすごくいいなと思いながら見て。地図はこれが一番見やすいかなと思って、後ろに。

○委員長 ありがとうございます。どうぞ遠慮せず、もう皆さん、どんどん。

○委員 日本文教出版ですけども、ところどころページ番号の下に小学校とか、他教科との関連とか、そういうのが載ってあるのがすごくいいなと。

○委員長 他教科との関連ですね。そのほかにございませんか。

○委員 あとね、この山川出版の歴史と対話が面白いなと思って見てたんです。

○委員長 一番興味に惹かれたページってどの辺になりますか。その山川出版の。

○委員 一番興味が惹かれた。

○委員長 というか、さっきの歴史と対話っていうところですけども。

○委員 これで見てたら、そうですね。

○委員長 衣装のところですね。

○委員 衣装とか。

○委員長 面白いのですね。どうもすみません、ありがとうございます。確かにいろいろ違う視点の。

○委員 そうなんです、いろいろ載っていて楽しいなと思って。

○委員長 ありがとうございます。

○委員 教育出版なんですけども、見開きの最初のところとかで、歴史と今の状況と対比させて載っているところが、歴史を学ぶ意義とか、そういうのがすごく見れていいなと思いました。

同じくなんですけども、年表のところ、マイページにあるか1ページずつにあるかっていうのもあると思うんですけど、この教育出版のほうは、各項目ごとになってるんですかね。節よりも細かいところで、これからこの時代を学んでいきますよってというのが必ずそういうのが書かれてあるのがあるので、そこもいいんじゃないかなと思いました。

○委員長 ありがとうございます。

そろそろまとめていかないといけないんですが、東京書籍がすごくたくさん意見いただきました。2番目に多かったのが、帝国書院と日本文教出版が多かったんですけども、どちらをつけましょうか。

○委員 私がメモしてる限り、日本文教出版ですね。日本文教出版のほうが多かったような気がするかな。

○委員長 そうですね。はい、すみません。日本文教出版のほうが多かったかなと。よろしいですか。そろそろまとめますけれども、よろしいですか。

では、今回の「最もふさわしいもの」というのが東京書籍と日本文教出版、「よりふさわしいもの」というのが帝国書院という形で、あとを「ふさわしいもの」という形でよろしいですか。

○委員 もう一社、入れなあかんですよ、ね、「よりふさわしいもの」。

○委員長 「よりふさわしいもの」を2つ。

○委員長 「よりふさわしい」が帝国と。

○委員 まだちょっとしか意見がちょっと出てないと思うので、ほかの方でほかの会社の中でこれってというのがもし御意見があれば、お聞きして。

○委員長 そうですね。今のところ多かったのが、教育出版、山川出版でしたね。

○委員長 その後に、ちょっとその辺りにもう1社、帝国書院、「よりふさわしいもの」ってどっちにしましょう。

○委員 すみません、学び舎のことですけど、横軸ではなく縦軸的な発想が、文章を書いているところがやっぱりこの教科書だけは流れを書いているわけではなくて、そのときそのときに起こったことを深掘りしてるような感じのことがあるんですけども。

240ページのところで、これは僕、教科書で見たことがない写真なんですけども、241ページのほうですね。これは多分見たことないですね。いや、事実なんですけどもね。これは、教科書すごくあれですね、歴史の教科書は。

○委員 いろいろ深いのですね。

○委員 今その「より」とか一番「最も」っていうふうは昔からなじみのある教科書かなって、多分先生方はそういうほうが慣れてるのでいいだろうと思うんですけど、時代が時代的に経過してる場所があるので、そういうのが増えてくるような教科書も出てきたなっていう感じで、初めちょっとキ・・・かなと思う。

○委員長　そうですね、やっぱり多様な見方というか、いろんなあれなんで。

○委員　そういう環境で僕ら深く学んでないのでね、やっぱりちょっとショック受けますね。ああいうのを見るとね。

○委員長　分かりました。ありがとうございます。

「よりふさわしいもの」っていうのは、今は帝国書院が一つありますけども。山川出版もね、先ほどの歴史と対話っていうのが凄く面白いかなと思います。

○委員　高校教科書って何か。

○委員　山川出版なんですよ。その流れでいったら山川出版っていうのも一つ、ありますね。

○委員　確かに。

○委員長　どうしましょう。

○委員　山川出版がいいと。

○委員長　山川出版でいきましょうか。「最もふさわしいもの」というのは東京書籍と日本文教出版、「よりふさわしいもの」が帝国書院と山川出版という形で、そういう形で一度答申を。後は「ふさわしいもの」という形で答申をまとめていきたいと思います。ありがとうございました。

【公民】

続きまして、「公民」になります。公民を事務局のほう、よろしくお願いします。

○事務局　失礼いたします。御説明いたします。

まず、「東京書籍」からになります。資料、関係データのリンク、見開きページのチェック・トライなどデジタルのコンテンツも充実した教科書になっております。

続けて、「教育出版」になります。各章の冒頭に仮説を立てて単元を見通し、最後に、記述等で振り返りを行うような構成になっておりまして、生徒の学習過程が示された教科書になっております。

続いて、「帝国書院」になりますけれども、こちらでもデジタルコンテンツの充実や地図帳の活用、あとはシミュレーションやライフプランを考える場合など、いろんな仕掛けが合わさった工夫がされています。

「日本文教出版」になります。内容も分かりやすい記載とともに、単元ごとに学習内容を整理しながら思考ツール等を用いて考えを表現するような構成になっております。

続きまして「自由社」になります。重要語句の説明を課題として知識の定着を図るなど、理解した内容について振り返る機会が設定されております。

最後に、「育鵬社」になります。ゲームや身近な事例を取り上げるなど、生徒の活動について順を追って示しており、流れの分かりやすい教科書になっております。

なお、府の選定資料、公民の18ページにまた総ページ数等の資料を記載しておりますので御活用いただければと思います。

以上になります。

○委員長　今15分ですので、これ6冊ありますので12分ぐらいでいいですかね。ちょっと延ばす感じで、15分の、27分までよろしくお願いします。12分でお願いします。

○事務局　失礼します。教科書、皆さんにお配りが5冊になっておりまして、1冊、自由社のみ数が少なかったことから、また歴史と同じような配置の仕方になっておりますので御了承ください。

(教科書閲覧)

○委員長　では、こちらの時間を終了したいと思います。では、これから質疑・応答の時間にしたいと思います。よろしくお願いします

○委員　東京書籍と日本文教出版が、「二次元コードが凄く多いな」というのが府の資料にもありま

すので、それがいいなというのと、同じくその2つですが、巻末のほうに、今後の高校等の公民とのつながりというのが見開きであったりするの、その2社ともその2つがいいなと思いました。

○委員長 はい、ありがとうございます。

そのほかにございますでしょうか。はい、どうぞ。

○委員 同じく日本文教出版と東京書籍なんですけれども、委員のほうからQRコードの数が多いというので中を見させてもらったんですけども、東京書籍のほうは資料は凄く多いです。ただ、日本文教出版のほうはいろいろポータルサイトで自分でまとめるような内容であったりと、あと小テストということで自分でテストができるようなコンテンツだったりということで、そこに違いがあるのかなと思いました。

○委員長 ありがとうございます。

○委員 東京書籍は「18歳のステップ」というページが幾つかあって、60ページなんかは、「18歳でできること、20歳でできること」といって、確かにもう民法が改正されて身近なことだと思うんですね。ですので、こういうページがとところどころに挟んであるんです。これが面白いと思う。

それから、消費生活のところの138ページを見てたら、ここも「18歳のステップ」で契約と支払い方法、これ今問題になってるんですけど、そういうこともやっぱりすごく、18歳が成人やでっていうことをすごく意識されているかなっていうのを東京書籍は思いました。

それから、日本文教出版も同じく、「明日に向かって」というページがあって、72ページは、15歳は子どもなのか大人なのかっていう、要は18歳が成人になっているので、こういうページがやはり所々に挟んであります。

122ページ、「まちづくりに参加しよう」とって、地域に参加しませんかっていう、こども未来会議室という他市の取組の発表があったりとかするのでこういうのも、年金の仕組みっていうのも112ページに載ってて、今日の朝の新聞にも載ってましたけど、これもいずれ自分たちの身に起こることなので。ツツさんの将来、これ自分で受給額の財源って下にいろんなケースがありますよっていうところが書いてあったりとかで、結構、いずれ自分が考えなければいけない問題をピックアップされてるかなって思いました。

○委員長 ありがとうございます。そのほか、ありますでしょうか。

○委員 帝国書院のところで、関西万博を書いているの、ざっくり見たんですけど帝国書院しかないん違うかな。514ページに。いや我々いなくちゃいけないのかなと思う立場だと思ってるので、ちょっと勉強するなら、来年ぐらいね。その後が続いてる、委員が言うみたいなの、いろんな環境みたいなこともコンテンツもいっぱいあるので、いいかなというふうに思いました。

育鵬社もありますけど、166ページのところですと、これなかなかみんなで盛り上がるんちゃうかなっていうような、「自分の人生をデザインしよう シミュレーション」とって13歳から70歳まで、このときに誰が結婚してどんな仕事についてっていうので、さっき授業料が国立は何ぼやとか私学やったら何ぼって書いてある。それで自分の将来的な金銭的な感覚を持つみたいなの。大谷翔平が子どもの頃から自分が何になるかって全部書いて行って実行して行ってっていうのが有名なやつがありますけど、ちょっとちがうのかも分らんけど、これは多分みんな喜んで書くんちゃうかなっていうような感じがします。

ちょっとやっぱりSDGsに引っ張られ過ぎちゃうかなっていうのが、やっぱり各教科書に思いますね。ちょっと今、そろそろSDGsもなんかブームが去ったとは言わないですけど、戦争がいろんなところで起こり始めてからちょっと薄くなってるような気もするので、どうかなというのが、これに引っ張られてっていうのがちょっとあります。

あと、東京書籍の84ページのところで、現役の党首が載ってはるんですけど、なかなかレアの方も

載られてて。これ珍しいですよ、これね。

○委員　ほんまですね。この秋どうなるか分からへんけど、こんな珍しいです、教科書ではなかなかね。ただ、今の日本がどういう仕組みかっていうところをしっかりと触れるような表も出てるので、中学生がどこまで言うかもあるんですが。東京書籍はいいかなと。

○委員長　ありがとうございます。

そのほか、ございますでしょうか。はい、どうぞ。

○委員　帝国書院のことです。アクティブ公民っていうコラボというか項目がだ一とちりばめられてるんですけど、報告にも補充的・発展的な学習のところに「パン屋さんをつくろう」のシリーズのことを書いてくださっています。このパン屋さんのところは、本当にこの章の中で縦軸でずっと自分の身に引きつけて考えるような構成になってて、すごく面白いなと思います。これから先、自分がどう生きるかとか新しいお仕事を生み出すとか、何かその辺りにも、そういう教育にも触れてるのかなと思いました。

あと同じシリーズの中で、77ページのほうには、「生徒会から民主主義を考えよう」ということで、こっちも自分に引きつけながら考えていける、そういう工夫がされているのかなと思いました。

○委員長　ありがとうございます。

そのほかにもございますでしょうか。何かありますか、もし何か。

○委員　ずっと見とって、後ろの法令とかのやつを見とって、書き方様々なんやなっているものもあるし、一番見やすかったのは日本文教出版の、あれが一番見やすかったんですけど。ただね、どれやったか忘れたんですけど、昔の文字で書いてるやつがあって、これって中学生は読めるのかしらと思いつつながら。どれやったかな、昔の文字で載ってて、これ読めるとか思いつつながら。帝国書籍さんのやつで235ページ、天皇のやつなんですけど、昔のあれで書いてて、これはこれですごいなと思って。

○委員長　分かりました。ありがとうございます。なるほどね、はい。言葉がね。

○委員　そうなんです。

○委員長　片仮名で。

○委員　書いてたりとか、これって見る機会ってないかなと思いつつながら。

○委員長　承知しました。ありがとうございます。

では、いろいろ本当にたくさんの御意見、ありがとうございます。公民のほうは意見が多かったのは、東京書籍と日本文教出版が多かったので、まとめるとすれば、「最もふさわしい」が東京書籍、日本文教出版。次に多かったのが、帝国書院だったかなと思うんですけども。あと育鵬社も「人生をデザインしよう」であるとかっていうのもあったかなと思うんですけど、その2つ、その2つを「よりふさわしいもの」という形にいたしましょうか。それでよろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○委員長　はい、そのようにいたします。答申させていただきます。

今1時間40分たってるんですけども、次まだ地図帳があってこれで社会が終わるので、地図帳まであと2冊なので、いかがですか。地図帳までいって休憩させていただこうかなと思います。

【地図】

では、地図帳のほうにいきたいと思います。事務局のほう、よろしくお願ひします。

○事務局　失礼いたします。「地図」です。

先に、「東京書籍」のほうからです。「二次元コードを活用したクイズや練習問題等により、生徒自ら活用できるような工夫」がある地図帳になっております。

続いて、「帝国書院」になります。「地図・地理だけでなく、歴史や公民の分野でも活用しやすいような構成」になっておる教科書になります。なお、府の選定資料、地図17ページに記載もまた、地図

に関連した資料のページ数であったり総ページ数に対する割合であったりというところが示されておりますので、また資料集も御活用ください。以上です。

○委員長 2冊なので5分間という形にしたいなと思います。時間は45分まででお願いしたいと思います。

○委員 これ、あれですね、確認ですけれども2社しかないので、2社とも「最もふさわしい」に入るけれども、そこで。

○委員長 意見を頂戴して答申していくという形でお願いします。

(教科書閲覧)

では、質疑応答のほうにいきたいと思います。御意見いただけますでしょうか。はい、どうぞ。

○委員 地図が2社しかないので、参考までに、地理の東京書籍と帝国書院を見たら、例えば世界の気候で、当然東京書籍と帝国書院で色使いが違います。当然、地理の帝国書院の気候区分の色使いと地図の帝国書院の色使いは一緒です。東京書籍の地図と帝国書院の教科書の気候区分の色使いは違います。これだけでも、恐らく子どもら迷う子は迷うのではないかなと。どこを選ぶか別にして。

○委員長 なるほど、なるほど。

○委員 そういう違いはありました。はい、すみません。

○委員長 ありがとうございます。そのほかにもございますでしょうか。

○委員 めっちゃ細かいんですけど。大阪市内、写ってるだけで、帝国書院のほうは守口市がちょっと載ってるんですよ。

○委員 めちゃくちゃ大事ですよ。

○委員 あのね、切れてるんですよ。東京書籍はないんですよ。

○委員 我々が言わずして誰が言うかって、絶対大事ですよ。

○委員 でも全部じゃないんですけど、ちょっと載ってる。

○委員 ちょっと載ってる。

○委員長 なるほど、ありがとうございます。大切です。そのほかにもございますでしょうか。

○委員 帝国書院は、例えば35ページとか、歴史と引付けて面白いなど。日本列島を逆さまにしてみたい。こういう交流があるねっていう、ちょっと歴史の視点で地図を入れたりとか。

それから、帝国書院は地図で発見っていうクエスチョンが必ず載ってるんですよ。これが、この教科書と連動しているんです。というところと、やっぱり詳しいかなって思います。例えば、今問題になっているパレスチナのところも41ページを開いたら、同じ地図です。東京書籍と、帝国書院41ページなんですけど、東京書籍は29ページなんです。同じなんです。エルサレムの旧市街の地図もその下に載っていて、もう見開きぱっと見たら地図も同じような、国旗も載ってて同じなんですけど、イスラエル周辺のこの一番左端の地図を見ても、帝国書院はちゃんとエルサレムを首都としてるけれども、これは国際的承認は得てませんっていうことが書いてあったりとか、点々がこれパレスチナ自治区ですよということがちゃんと説明されてたりとか。それから、ここエルサレムっていうのは、キリスト教・イスラム教・ユダヤ教の聖地ですよって書いてあったりとか、こういうところがすごく丁寧かなと思います。これ、東京書籍も一応バーミヤンとかバビロンとかウッドとか、これ世界遺産の印はついてるんですけど、多分子どもたちはこれだけ見たら何のこっちゃ分からへんかなという気はします。説明がところどころに書いてあるっていうのは帝国書院かなと思います。

○委員長 分かりました。

○委員 みんなすごいな、すばらしいな。

○委員長 比較して、ありがとうございます。

○委員 何か歴史的なところとか、何かそういうことにも触れてさっきおっしゃったことにも関係あ

るのかと思うんですが、一番どっちも後ろに、日本の戦時というか地図が載っているんですけど、帝国書院のほうは日本の領土っていう言い方になっているんです。調査員の報告にも、「領土の問題」みたいなことがワードとしてやっぱり出てくるのは帝国書院で、何かその辺りのちょっとこだわりというか、何かそういうのは感じました。

○委員長 分かりました。ありがとうございます。

ちょっとまとめますけど、よろしいですか。2社しかないのであれですけど、何かまとめをしていきたいなと思います。

東京書籍、帝国書院、2社しかありませんので、「最もふさわしいもの」という形で答申のほうを挙げさせていただきたいと思います。よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○委員長 これで地図のほうを終わりたいと思います。一旦休憩して5分ぐらいですね、休憩をちょっと入れたいと思います。

(休憩)

(再開)

○委員長 よろしいでしょうか。事務局のほうからお願いします。

○事務局 それでは、「数学」について7社、説明をさせていただきます。

まず、「東京書籍」からです。「2次元コンテンツ、フラッシュカードにより個人差による補充問題に取り組むことで、生徒が主体的に補充・発展的に学習を進めることができるようになっている」といった特徴があります。

続きまして、「大日本図書」です。「数学への興味・関心を高めるために、章の導入の活動や導入課題、考えよう。そして、利用の問題では、生徒にとって身近な場面を多く取り上げ、親しみが感じられるようになるよう工夫」されています。

続きまして、「学校図書」です。「活用の問題が身の回りの事象と直結しており、取り組みやすい。また章のとびらでは、各章、対話形式で課題が提示されている」といった特徴があります。

続きまして、「教育出版」です。「疑問、気づき、発展についてマークを用いて、学びのサイクルが分かりやすく示されている」といった特徴があります。

続きまして、「啓林館」です。章末問題「学びを身につけよう」では、基本的な内容から少し応用力を問うものまでを取り上げられています。また、数学広場の「力をつけよう」では、その章で学んだことの総仕上げができるようになっております。

次に、「数研出版」です。「生徒の理解度に応じて問題を選択できる要素が充実し、習熟度別で授業の編成を行う場合においても活用しやすい教科書」となっています。「デジタルコンテンツを活用することで、より高度な内容への展開も自然な形で行えるようになっている」といった特徴があります。

最後に、「日本文教出版」です。原則1時間の授業で扱う内容を小節として構成されています。「学習内容の区切りが明確で学習の焦点化を図りやすく、復習する箇所が分かりやすい」といった構成になっています。

なお、分量につきましては、大阪府の選定する選定資料、数学2 2ページのほうに記載されていますので御参照ください。

以上でございます。

○委員長 ただいま4時なので、12分間取りましょうか。学年を絞っていろいろ見てもらえたらなと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○委員 これね、デジタルコンテンツってこれ完成系ですか。ここからまだ何か、過去は確かデジタルコンテンツ、あれで試しとかテストで入ってたやつがあったと思うんですけど、各教科書の完成形の

なんですか。

○委員長 いや、それは。

○委員 これでリリースされるんですかね、じゃない。

○委員長 小学校は確かまだ配置途中というか、この時期はまだまだ十分じゃなかったと思うんですけど、中学校のほうは聞いてないね。

○委員 もう一回聞いてもらったほうが、何かね。もしか空でダミーで入ってるだけでこれから入るんやったら審査しようがないというか。

(教科書閲覧)

○委員長 それでは、すみません。こちらの時間を終わりたいと思います。御意見を頂戴願います。はい、どうぞ。

○委員 この資料からですね、3社、東京書籍は、やっぱりデジタルコンテンツがすごく多いというのが上げられています。あとは、会話的な学びにつながる箇所が多いということで、学校図書と数研出版が200を超えてるといふのがあるので、やっぱりそういったところがあるといふのは非常に大きいかと思います。

○委員長 ありがとうございます。そのほかにありますでしょうか。はい、どうぞ。

○委員 東京書籍なんですけども、全部の会社、詳しくは見てないのではっきり言っているのかちょっと分からないですけど。最初の、一番最初の「正負の数」っていう、一番入りのところで丁寧に写真をいろいろ入れながら、身近なところに負の数を使っているというようなどころの説明が一番丁寧で見やすいのかなというふうには感じました。

○委員長 はい、そのほかにはございますでしょうか。

○委員 委員おっしゃったように、デジタルコンテンツ、量としたら東京書籍が1番で、その内容も今見たら凄く充実していてシミュレーションとかいろいろ組み分けされていて、図形のところとか、自分でこう図をこうやって持って行って、デジタルコンテンツの中でその図形を触ってイメージすることが非常にしやすいコンテンツが入っていたりしました。

やはり、一番最初につまずきやすいところがマイナスのところであったりとか、初めのXのところでもみんな、「うん」ってなるので、そういうところの見やすさといったら東京書籍であったり、教文も非常に何か、最近の数学ってこんなに大きな文字を書くんやと思って。文字大きいなと思ってるんですけど、それだけ分かりやすいのかなとは思いました。数研出版もめちゃくちゃ文字が大きいですね。

○委員長 2社目はどちらに。

○委員 東京書籍と数研出版。

○委員長 数研出版でしたね。ありがとうございます。

○委員 啓林館なんですけども、各ページ、単元ごとに補充問題のQRコードがありまして、開いたらもういっぱい問題は載ってます。はい、問題。ただ、東京書籍のような多種多様な感じではなくて、その単元の問題がすごくいっぱいあるので、勉強をしたい、復習したいという子にとっては明確でいいのかなというふうに感じました。

○委員長 はい、どうぞ。

○委員 3社ありまして、東京書籍の「学びのマップ」っていうのが3年生ですね、3年生で全部終わったときに、3年間を振り返ってっていうのが書かれてあって、今までどんなん習ったっていうのが一覧表にまとめてあるのが東京書籍とあと教育出版、それと数研出版。この3社があるんですけど、特に何か数研出版のものが一番横軸にすごく見やすいなっていうのを感じました。

それとですね、表紙なんですけども、一見するとすごくこれが柔らかく、東京書籍ですね、柔らかくていいなと思って。いや、ほかのところも、やっぱり幾何学的なことが書いてあって裏表紙にいろいろ

書いてありますけど、東京書籍って全く意味ないよね、ちょっと裏を見たらやっぱりちょっと数学的なところが記されてあって、「あっ」というのがちょっと気づかされるのかなって、柔らかい表紙がいいです。

○委員長 はい、どうぞ。

○委員 いいですか。東京書籍なんですけど、テーマが「数学はつながっている」というテーマなのが、ちょっと惹かれました。数学的な考えを暮らしに生かそうとする態度はやっぱり重要だって言われる中で、この視点を貫いてるってところがちょっとすごいと感じています。ところどころに章の合間に、合間というのか、最初に色つきのページで149ページとか150ページとか例えばこんなところなんですけど、問題を掴んで見通しを立てていく、問題発見解決能力を意識したこういう流れの中で問題について深めていくというスタイルをどこのパターンでも使っていて、それこそ汎用的なそういう力を育てるのにちょっと特化しているのかなと思っています。

○委員長 ありがとうございます。

そのほかにありますでしょうか。はい、お願いします。

○委員 啓林館ですかね。宿題的な問題だけ書いているやつと、スタディサプリみたいな解説が入った、あれみたいな音声が入ったやつとかがあったりしたんですけど、ほかのやつはちょっと見れてないんですけど、今みたいに音声がついて、「これがこうしてこうやって解いていくんだぜ」というのがあればどこでも勉強できるなっていう気がしたのでいいと思います。

東京書籍は、やっぱり言うように優しい感じがしますね。その、数学やからちょっとハードな感じじゃなくて優しい感じがしますね。文字も何か、ちょっとフォントが違うのかなというぐらい優しい文字。ちょっと大きいんですかね、文字が。そうでもないのかな。大日本図書と比べると太いし、ちょっと大きく見えるのは何でしょう。意識してこうやられたんですね。その辺の工夫が見られると思います。

○委員長 ありがとうございます。

ほかにございますでしょうか。大体、これでよろしいでしょうか。

○委員 地震の速さを計算する何か、なるほど。

○委員 やっぱり目次とかを見ると、小学校とか、学年が上がってきたつながりとかを載せているところが、今見ましたら東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、日本文教出版かなって。ちょっと東京書籍のほうは、その目次の前に、先ほど言われた、「つながり」というところで、身の回りつつながるとか社会とつながる、ここのページを見たら、そういうふうな視点で広がりますよっていうのを載せてあるのがすごくいいなと思いました。

○委員長 はい、分かりました。そろそろまとめのほうにいかがかなと思いますけれども、よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○委員長 意見が多かったのは、東京書籍、数研出版もまだあれかなと。東京書籍、数研出版のほうを「最もふさわしい」にして、あとたくさん意見も、啓林館と学校図書、教育出版のあたりもちょっと意見が出たので、3つでも構わないですか。学校図書、教育出版、啓林館を「よりふさわしい」として答申を上げたいと思います。

ありがとうございました。

【理科】

○委員長

続きまして、「理科」のほうをお願いしたいと思います。その前に教科書を交代したいと思います。お願いします。

理科のほうをいきたいと思います。事務局のほうから説明をお願いします。

○事務局 「理科」です。

まず、「東京書籍」からまいります。「全体的に写真や絵、イラストが多く、生徒の関心を惹き付ける工夫がされており、資料が見やすく、既習内容の振り返りの部分も見やすくなっている」ということです。

次に、「大日本図書」についてです。「全体的に情報量が適当で、基本的な内容を学習できるようになっており、履修内容が写真付きで振り返られるようになっていて」といった特徴があります。

次に、「学校図書」です。「実験を行う上での様々なヒントのコメントがあり、考えを深めやすい」といった特徴があります。

次に、「教育出版」です。「実験等の結果の比較をする際に分かりやすい写真が並べられていたり、時系列で写真がまとめられていたりなど、写真の使い方が効果的」といった特徴があります。

最後に、「啓林館」です。「文章量と図、そしてイラストの量の比率がちょうどよく、内容も標準的なレベルでまとめられていてとても使いやすい教科書となっている」といった特徴があります。

分量につきましては、府の選定資料2の24ページに記載されておりますので、御参照ください。

以上になります。

○委員長 今4時26分ですので10分間、36分までよろしくお願いします。

(教科書閲覧)

○委員長 では、協議のほうを始めていききたいと思います。よろしくお願いします。

○委員 教育出版さんの教科書が読みやすく、文字が普通よりもほかの教科書よりも読みやすいかなと思いました。

○委員長 ありがとうございます。字が大きいっていう、レイアウトが。

○委員 レイアウトが余裕がある、吹き出しとかもあるんですけども、ほかのところは文字が大きく分かりやすいかなと思いました。

○委員長 ありがとうございます。はい、どうぞ。

○委員 啓林館さんです。問題発見を探究する計画の立案っていう箇所が断トツに多いのと、あと日常生活、社会との関連の具体例っていうところも啓林館さんが一番多いと。

その例としては、3年生の「エネルギー」のところをちょっと重点的に見たんですけども、一番日常生活で起こり得るような、陸上のスタートのときにかかる力の作用・反作用であるとか、結構日常生活の場面の写真が入ってて、非常に難しい分野なので分かりやすく、そういう写真を入れながら説明してるなというふうに感じました。

○委員長 ありがとうございます。

○委員 東京書籍ですが、目次の後に、5ページとかに毎学年、科学の問題だと思うので、科学と関連する本の紹介が毎学年あるのすごくいいなと。

あと、同じく東京書籍と啓林館さんですかね、読み物のコラムがいろいろ分類がされていて、「お仕事図鑑」とか「キャリア教育の視点」とか、あと「防災特集」とかっていうふうに分かれてあるので、何か非常にそういった視点でもここ読んでみたいなっていうのが、見てみたいと思うような工夫があるなと思ってます。

○委員長 ありがとうございます。そのほかにいかがでしょうか。はい、どうぞ。

○委員 啓林館です。さっきもおっしゃったんですけど、「探究」というところについて、啓林館の示し方が一番探究の過程っていうところでは分かりやすいし、取り組みやすい示し方をされてるなと思いました。

あと「探究」で言えば、学校図書さんも同じくなんですけど、啓林館のほうの方がより分かりやすい。学

校図書は、それ以外のものよりは分かりやすい、2番目ぐらいに、そんな感じがしました。

○委員 どの教科書もさすがに探求、探求かなと思いますので、やっぱり啓林館の「探求」、非常に丁寧に示してくれてるかなと順番に。振り返りだったりとか、リトライっていうのだったりとか、なかなか読んでても見入ってしまうなっていうのはありました。

2年生のを見て「化学変化と電子」っていうところ、一番難しいところを見てるんですけども、みんなここでちんってなるので、でも、「入浴剤の泡はどこから出るのか」だとか、子どもの、要は身の回りのところから問題を持ってきて考えるという、そういう工夫がされているかなと思ったのが、啓林館の「すずめが電線に止まっている」やつとか、こういうのがいろいろあって面白いなと思って。「どうして、すずめは電線に止まっても感電しないのか」とか、ああそうかと、面白いなと思って見ました。

もう一つ、東京書籍のほうは、ここも何かすごく分かりやすくできるだけ表記しようってしてるのかなっていう感じで、2年生の「元素記号」ところ、ここだけが非常にカラフルな元素記号で、ほかのやつは一番後ろに元素記号が出てきたりとか、本当に普通の元素記号なんですけど、東京書籍の2年生の10ページに載っている元素記号は非常にカラフルで、さらにそれと関連付けた人の名前は、何でその名前がついたのかっていう由来まで載ってて、非常に面白いなと思いました。そういうことはほかのページでも、例えば実験も非常に分かりやすく書いてあるし、レポートの書き方とか、こういう実習とかもこれもステップ1、2、3っていうふうに非常に分かりやすく書いています。

○委員 東京書籍と、教育出版の表、ちょっと何ページぐらいかな、この「理科室の決まりと応急処置」が一番分かりやすかったかなと思って。こういうときにはこういう対処をしたらいいんだよみたいなのが一番分かりやすく載ってたかなって。

○委員 さっきの東京書籍ともう1社が。

○委員 教育出版。

○委員長 ありがとうございます。

○委員 教育出版、文字のことにしても、学校図書の写真というか、すごくカラフルなのが、ほかのより幾らかすごく大きかったりとか、すごい目につくのが、興味・関心が高まるというか、学校図書、そういう点でいいかなと思いました。

○委員長 はい、分かりました。

○委員 すみません。これね、目次の、教える順番があるんですよ。教科書によって違うんですね。これテストのときってどうなるの。

だから、例えば「生命」のやつが一番来るとこは1学期の「生命」のテストをやる。でも教科書によって、科学と理論が来てたらテストは、1学期は科学と理論。教科書に合わせてテスト問題という形になる。

○事務局 大体そうですね。なので、市をまたいで違う・・・するとか、たまにあるということですね。

チャレンジテストとかも、単元をどれを選ぶか3種類ぐらいあるんですよ、理科で。習うところの順番が違うから。

○委員 そうですよ、習ってないやつが出るって。なるほど。

○委員長 配列が違いますよね。

○委員 この、「科学とサイエンスと理科」っていうところがあると思うんですけども、ここでも全然意味ないんですかね。「理科」って書かれると優しそう、「科学」と書かれると、それ関係あるんですかね。何でもいいんですかね。

○委員長 教科書によって、やっぱりその特徴なんですね。

- 委員 その教科書さんのあれですね、どこを大事に思ってるかで違うんですね。
- 委員長 題名みたいなもの、科学、サイエンス。
- 委員 それで言うと、「生命」を一番前に持ってきてるのは、啓林館さんなんですね。
- 委員長 確かにね。その視点ですごい面白い。ありがとうございます。
まとめのほうをよろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

- 委員長 今御意見が多かったのが、「最もふさわしい」というのは東京書籍と啓林館が多かったかなと思いますので、そこ「最もふさわしい」。学校図書、それから教育出版のほうもいろんな御意見があったんですけども、それが「よりふさわしい」という形で答申に上げたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

【音楽（一般）】

- 委員長 続きまして、「音楽」になります。音楽の一般、これが2社ですね。お願いします。
- 事務局 音楽一般、2社、説明させていただきます。
まず、教育出版のほうからです。「学習マップでは、見通しを持って学びを進めることができるように工夫されており、導入として教科書の最初に歌唱の際の注意点をまとめる工夫」がなされています。
次に、教育芸術社のほうです。「デジタルコンテンツ全ての教材において充実しており、音素材、ワークシートなどもあり、予習や復習など1人でも学ぶことができる教科書」となっております。
以上でございます。
- 委員長 これも2社なので、2つともが「最もふさわしい」教科書になるかなと思います。ちょっと5分間でよろしいですね。閲覧のほうをよろしくお願いします。
(教科書閲覧)
- 委員長 はい、ではちょっとお時間になりました。進めていきたいと思います。
- 委員 二次元コードの数も教育芸術社さんが圧倒的に多くて、いろいろカラーやピアノがQRコードよく入ってたりということで、それが授業以外でも曲が聞けたりするのかなというふうなこと。後ろに合唱とか合奏以外の社会が、生活や社会の中での音や音楽という特集も組まれたりしてて、音楽の授業以外、音楽のつながりのある日常生活のことも載ってていいかなというふうに感じました。
- 委員長 ありがとうございます。
- 委員 教育出版さんのほうですけど、ほかの音楽は音楽なんですけども、デジタルでつくる音楽のほう、コンピューターでつくるというのはありますね。今やっぱりそっちで音楽をつくる人たちがやっぱり多いような気はするので、そのページがありますね。ベーシックな方もないんですけど、コンピューターで曲をつくるほうが今やメジャーになってるので、そちらを教えるというのは今どきではあるのかなと。もう既に中学生ぐらいでやってる子はやってますからね。
- 委員長 やってる、はい。
- 委員 そこを見捨てずフューチャーしてあげるっていうのはいいんじゃないかなと思います。
- 委員長 ありがとうございます。そのほかに。
- 委員 教育芸術社のところなんですけど、2、3年の下のほうで64ページ、65ページに、音楽を楽しもうということで著作権のこととかが載ってあったりして、ちょっと音楽ですけども消費者教育につなげたりとか、そういうのがすごくいいなと思いました。ちょっと教育出版さんにあるかどうかを今調べてるんですけど。教育出版さん、あれですね。2、3年の上のほうにありますね。64ページ、65ページ、教育出版さん。
- 委員長 ・ありますね。ちょっと、はい。

○委員　　そういうところで勉強すると。

○委員長　　ありがとうございます。そのほかにございますでしょうか。はい、どうぞ。

○委員　　どちらも調査員の報告には、「聞き慣れた音楽」とか「身近かな」というところがキーワードとして報告書から出てきていて、そういう工夫がされているんだなと両者思います。

その点でいくと、教育芸術社のほうのそれぞれの学年の一番扉のところでは取り上げられている人とか、そういうのがちょっと今っぽいというか、あっこの人、一番最初に出てくるんやっていうのがちょっと教育芸術社のほうがちょっと惹かれた感じがします。どちらも、どちらの会社も最初にあの人を取り上げたり、楽器を取り上げたりはしてるんですけど、ちょっと心惹かれました。

○委員長　　ありがとうございます。

今回に関しては、ちょっと両方とも「最もふさわしい」ということなので、ほかに意見がなければ、それぐらいで答申を上げたいと思うんですけど、よろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○委員長　　ありがとうございます。

ちょっと5時になりそうなので、今日はここまででよろしいですかね。また、次回以後という形でよろしくお願ひしたいなと思います。

では、本日の選定委員会を今日は終えることとしたいと思います。

残りの種目につきましては、次回7月11日（木）の午後2時より、場所がちょっと変わります。1階の会議室、市民会議室のほうの103になりますので、よろしくお願ひします。

それでは、閉会に当たり、千石副委員長より御挨拶をいただきしたいと思います。

○副委員長　　本日は、選定作業に非常に熱心に取り組んでいただきまして、どうもありがとうございました。

まだ、半分残っておりますので、次回につきましても、また公正かつ適切な選定作業が行えるように、よろしくお願ひいたします。本日はどうもありがとうございました。

○委員長　　ありがとうございました。これで終わりたいと思います。

どうも今日はお疲れさまでした。ありがとうございました。

閉会　午後5時00分

令和6年度 第3回守口市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会

日 時	令和6年7月11日（木） 午後2時00分～		
場 所	守口市役所 1階市民会議室 103号		
出席者	委員長	水川 登志雄	守口市教育委員会事務局教育監（兼）教育部長
	副委員長	千石 仮名江	守口市立第一中学校 校長
	委員	水野 敦夫	守口市教育委員会事務局教育部学校教育課長
	委員	佐々木 幸子	守口市教育センター長
	委員	森尾 輝義	守口市立八雲中学校 教頭
	委員	横山 淳	保護者
	委員	杉本 由美子	保護者

○事務局 では、ここからは水川委員長に進行をお譲りいたします。水川委員長、よろしくお願いたします。

○委員長 では、今回「器楽」から、音楽の「器楽」からになります。ただ、ちょっと事務局の都合上、順番のほうは、器楽の次に「国語」、「書写」っていう順番にちょっとさせていただきたいなと思いますので、御了承ください。

【音楽（器楽）】

○委員長 では「器楽」のほう、事務局のほうから説明をお願いします。

○事務局 では、「器楽」のほうを説明させていただきます。

まず、「教育出版」のほうからです。生徒の発達段階を考慮した内容となっており、無理なく学習が進められるようになっている。また、教材につけられた二次元コードを読み取ることで、楽器の総合等の学習に対応した動画資料を視聴することができるという工夫がございます。

続きまして、「教育芸術社」です。リコーダーの学習に始まり、弦楽器、打楽器、管楽器の順に楽器の基礎的な知識や双方が身につけられるように系統的な配列がされているという工夫があります。また、分量につきましては府の選定資料、器楽の7ページに記載されておりますので、併せて御覧ください。

以上になります。

○委員長 ありがとうございます。

今回は2社ですので、どちらとも「最もふさわしいもの」というふうになります。ですので、5分間、2社で5分間見ていただいて、後からちょっと御意見を頂戴したいと思います。よろしくお願いたします。

（教科書閲覧）

5分になりました。御意見のほうを、大体5分から7分程度で決めたいと思います。よろしくお願いたします。はい、どうぞ。

○委員 教育芸術社ですけれども、表の右下に多くのページに伴奏がQRコードで入ってますので、自分で家庭でもいろいろ曲を聞きながら練習っていうのはしやすいのかなというのは感じました。

○委員長 分かりました。ありがとうございます。そのほかに。

○委員 どちらもリコーダー、それからギター、三味線と載っている楽器は同じなんですけど並べ方が違って、教育芸術社はリコーダー、ギター、それから琴、三味線、和楽器ってきてるという順番で、教育出版のほうは、リコーダーの後に篠笛、尺八がきて、またギターに戻ってっていう感じだったところがあるので、並べ方からしたら、教育芸術社のほうが分かりやすいのかなというふうには思いました。

○委員長 分かりました。ありがとうございます。ほかに何か。はい、どうぞ。

○委員 教育芸術社のほうですね、入り口のところにみんなが親しみやすい曲があったほうが、教科書にあったほうがいいのかと思う、いろいろとタレントさんのやつもあったりしてるような曲がある、両方ともあるんですけど、「バンドの世界をのぞいてみよう」というのが68ページのところで、今の子どもたち、そういうバンドも大好きなので、教育出版社のほうになるんですけど、取上げ方がそういうところで、何か音楽の時間を楽しみにしてくれそうかなというような気がしました。

QRなんですけど、QRを取りますと、教育出版のほうは音はいいですね。こっちの教育芸術社の音はあまりよろしくない。編集の加減なのか、何を使ってるかによると思うんですけど、教育出版のほうは音はよかったです。

○委員長 ありがとうございます。

そのほかにございますでしょうか。はい、どうぞ。

○委員 ちょっとどちらにでもなるんですけども、調査員の方が書いてある、「人権を尊重する観点から様々な国や地域諸民族の楽器」、本当に多くの楽器が掲載されている。教育芸術社でいいますと104ページ、105ページ。教育出版のほうは、一覧表って絵が入っていたと。56、57ページですね、というのがあって。ただ、教育出版のほうは弦楽器に特化して、「弾く楽器の仲間たち」っていうふうに書かれてあって、教育芸術社のほうは、本当に弦に限らずいろんなことが載っているかなと感じました。

○委員長 分かりました。そのほかありますか。よろしいですか。

ちょっともうどうしましょう。もうまとめる感じで。2社なので、どちらも「最もふさわしい」ということですので、たくさん御意見も頂戴しましたので、両方とも「最もふさわしい」という形で答申したいと思います。ありがとうございました。

【国語】

○委員長 続きます、国語のほうに移りたいと思います。国語のほうも今用意をしてくださるので、国語のほうは時間が4社ですかね。10分でよろしいですか。説明のほうを、すみません。説明をお願いします。

○事務局 それでは、国語のほうを説明させていただきます。まずは、4社、教科書会社があります。

「東京書籍」から。「東京書籍」では、「未来への扉」というのが初めにあるんですけども、そこで「多様性や国際理解」など9つのテーマを示しております、そのどこに該当するかというのは各教材に示されている特徴があります。

「三省堂」です。「三省堂」は、全学年、見開きでまとめられており、「学び方を確認して主体的に考える方法が示されている」という特徴があります。

「教育出版」です。「教育出版」は、全学年で初めに加藤周一氏のコラムが掲載されており、学習する意義を示しています。

最後に、「光村図書」です。全学年で学習の見通しや観点別のつけたい力の指針を示しているという工夫があります。

分量に関しては、府選定資料、国語の19ページに記載していますので御覧ください。よろしく願います。

○委員長 はい、ありがとうございます。では、10分間取ります。よろしく願います。

(教科書閲覧)

○委員長 すみません、お時間になりました。協議のほうを始めていきたいと思います。

○委員 紹介図書とかをちょっと見ていたんですけども、どの会社も府の設定資料の中には20ページのほうに紹介図書の冊数とかが書かれてあって、光村図書が一番多く冊数とか紹介されているんですけども、紹介の仕方がページごとにされていたりとか、各社ばらばらではあるんですけど。三省堂の

○委員長 1年生の教科書。

○委員 1年生の教科書。最後の、1年生だったら244ページに「小さな図書館」というような形で凄く見やすく、二次元コードも貼られてあるので、見ると一覧表でぱっと出てくる。さらにそこから広がっていくというのは、こういう本の紹介のされ方とかも凄くいいなと。光村図書がそういう紹介が多いのも、三省堂の紹介の仕方っていうのも非常にいいなと思いました。

○委員長 ありがとうございます。そのほかにございますでしょうか。

○委員 まず三省堂、印刷が非常にきれいでカラフル。中はすごくきれいなっていうのと、やっぱり関連別で、一番初めにつけたい力のところに「思考・判断・表現力」、「思考の方法」のところ、つ

けないところ、つきたい力ということで二重丸と丸で分かりやすく分類されていて、それがちゃんと教材名と連なっているっていうのが非常に分かりやすいなど。子どもたちにとっても分かりやすいなと思いました。

それから、三省堂、「思考の方法」っていうのがあって、ゴレンジャーが出てくるんですけど、これも分かりやすく、どの教科書にも1年生ってやっぱりヘルマン・ヘッセの「少年の日の思い出」っていうのが全てに載っていて、それをちょっと比べたりするんですけど、やっぱり教科書会社によって「目標の設定」が違ってるので、三省堂なんかは目標のところに「登場人物の行動や心情について、自分の考えを確かなものにする」という目標を挙げられてるんですよ。ほかは、「登場人物のものの見方について考えましょう」とかそういう感じなんですけど、この物語を通して自分の考えを確かなものにしましょうってはっきり書いてるのは、この三省堂かなと。あとは、光村図書も同じようなことを書いてたかなと思いました。

○委員長 分かりました。ありがとうございます。

○委員 光村図書でいいです。各学年、思考のレッスンとか情報整理のレッスンというので3年間通してなんですけど、思考の型とか情報整理の方法なんかを系統的に教えてくれてるなというのがとってもいいと思いました。

本のつくりとして、ページのつくり方としてタブが並んでるように見えて、同じような種類のことを学ぶときに、「あっ、前のページでこれやったな」とか「もっと後のページではこういう紹介っていうのが勉強がされてるんだな」ということを自分で振り返ったり、次を約束したりしながら勉強できるっていうところがいいなと思います。これ、光村図書ではこのタブみたいな書き方をするのがほかの場面でもあったりとかして、横になったり縦になったりそれぞれのテーマごとに違うのですが、こういうつくり方って自分が、何て言うんですか、自分で学ぶときにすごく役に立つなというふうに思いました。

○委員長 分かりました。ありがとうございます。

○委員 いいですか。

○委員長 はい、どうぞ。

○委員 光村図書のやつ、内容がちょっと多いと。光村図書ですけど、これ教科書の紙、めちゃめちゃ薄くないですか、これ。例えば、77ページのやつを見てもらったら。

○委員長 1年生ですか。

○委員 ごめんなさい。1年生で。裏写りして裏がもう浮き上がってきてるわけ。他のページをやっぱ見ても全部裏写りしてて、何か文字が重なって見えて。63ページやったら裏の漫画が透けて見えるとか、そんなことであってかなり紙が薄いなという気がしました。

ただね、いいのはこれ、光村図書の紙はあまり明るくないですよ。だから目が疲れない。ところが、質を落としたからそうなるのか分からない。他のやつって真っ白で、LEDの下で読んでたら目が疲れるんですよ、これ。だから、それがあんなってというのは一つ思いました。

三省堂は、つくりというか、立て方が参考書っぽく、ごめんなさい。結構、楽しく明るい感じのつくりで書いてあるというのが書いてあって、子どもが飽きないかなというふうに思いました。

東京書籍が、いわゆる参考書っぽいんですよ。1つのセンテンスがあったり、いろんなところに話が飛んでいくとか、みんなで意見交換をしようとか、表現を工夫して書くにはみたいなことが書いてあって。1番僕らがよく知ってる教科書で多分教育出版のような感じのやつが、昔からある教科書かなというのは思います。ベースとしては教育出版で、後はそんな感じかなというふうに思いましたけど。光村図書のこの裏写りがすごい気になりましたね。

○委員長 はい、ありがとうございます。

そのほか、ございますでしょうか。はい、どうぞ。

○委員 東京書籍ですけど、調査員の報告にもね、「表紙に選ばれている詩がとても文学的なものが取り上げられて」という意見がありました。この表紙に取り上げられるものだけじゃなくて、中身で学習する詩の選び方についても、その文学史上すごい外せないところとか、「あっ、この詩が選ばれるんだ」というちょっと教えたい、学びたいってところにぐっとくるような選び方がされてて魅力的だと思いました。

○委員長 ありがとうございます。

○委員 光村図書なんですけども、国語の教科でいったら情報活用とかいうのはほかの社会とか理科でも扱えるんですけど、情操・情意を文章を読みながら育成するというのはこの教科だけだと思うので、その心の動きとか感性っていうと、光村図書が「大人になれなかった弟たち」という題材を使って、ほかの会社3社とも扱ってないんです。三省堂は、「もののみかた、感性を養う」という同じような育成する題材でいうと、「字のないはがき」なんて、「今の子ら、はがきかあ」と思いながら、ちょっとイメージしにくいのかな、でもいい話はいい話なのは間違いないんですけども、そんな違いはあるのかなというふうには感じました。

○委員長 ありがとうございます。

大体10分ぐらいになるんですけども、御意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

では、御意見が多かったは、三省堂と光村図書が多かったかなと思います。ですので、「最もふさわしいもの」については三省堂、光村図書。それから、「よりふさわしいもの」を東京書籍と教育出版という形でしたいと思います。よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○委員長 それで答申を上げたいと思います。ありがとうございました。

【書写】

○委員長 続きまして、「書写」のほうに移りたいと思います。では、事務局のほうから。

○事務局 説明をさせていただきます。

書写も4会社あります。「東京書籍」です。東京書籍は身のまわりの文字の工夫を探すヒントが多く、実生活で生かせる内容になっています。

「三省堂」は、各学年で学ぶ内容が端的に示されているので、全体を通してとてもまとまっています。

「教育出版」です。巻末に資料がまとめられており、内容が充実していて見やすいです。

「光村図書」です。全体的に例に挙げられているものや題材が身の回りのものに関連しており、親しみやすい内容になっております。

分量については、府の選定資料、書写の9ページに記載しております。

○委員長 はい、ありがとうございました。4社ですけども学年がないので、どうしよう、5分ぐらいの閲覧でよろしいでしょうか。よろしくお願いします。

(教科書閲覧)

○委員長 では、閲覧時間を終えたいと思います。御意見を頂戴したいと思います。はい、どうぞ。

○委員 最終的には光村図書なんですけど、やっぱりこの時代に手書きのよさってないのかなって改めて考えさせるのが、光村図書の88ページ、漫画で描いてあるんですよね。これ非常に子どもたちに響くんと違うかなと。

ほかにも東京書籍とかやったら1ページ見開きのところに書いてあったりとか、教育出版なんかも54ページにそういうコラムで載ってあったりはするんですけども、比較するわけではないですけど、すごく伝わりやすいのは光村図書かなと思いました。

○委員長 ありがとうございます。そのほかにございますでしょうか。はい、お願いします。

○委員 光村図書だけが別冊ついてました。これは、別冊にする意味があったのかな。どうなんでしょう。これはこういうものなんですか。ほかでいったら同じ内容が中で書いていたような気がしたんですか。何か意味があるんですか。これ、外して使いましょってわざわざ書いてある。

多分これ、僕らも習字を書くときに横に教科書を置いて見ながら書くと思うんですけど、これちょっとだけ言いますと、この本を開くときね、ぱっと開く、このひらっと開くっていうのって、結構実は印刷技術があつてね、ほかのやつって開いたら押さえなあかんのです、こうやって。これは、どこやったっけ、三省堂はぱって置いてもすっと開くんですよ。押さえつけなくても。これって実は結構な技術というか、紙の質を考えていろいろとやってはる。ホッチキス止め方とかっていうのがあったので、こっちのほうが見やすいなっていう。・・・見ながら書こうと思った時、ありますね。

○委員長 ありがとうございます。

○委員 ただ三省堂は、こうぴらっと長くなる縦書きの、書初めみたいなやつがおまけがなかったの

で。

○委員長 確かに。

○委員 ごめんなさい、ありましたね。すみません。一番後ろについてました。はい、以上です。

○委員長 ありがとうございます。そのほか、ございますでしょうか。

○委員 教科書が分厚いなと思って。私の学生時代の書写の、もっと薄かったなと思ってこう見たら、いろんな状況がこの本になっていて面白いなと思って思わずずっと見てたんですけど。

光村図書はやっぱり後ろに書初めマスターというのがまとめて書いてて、これで書き方の見本みたいなのがちゃんと1年、2年、3年用って書いてあるんです。一番最後に、王羲之の書が鉛筆でなぞってみようってあたりとか面白いなと思って見てましたし、なかなかやっぱり「手書きのよさを考えよう」っていう。その後全国文字マップっていうのがついていて、いろんな書体でいろんなところにこういう漢字というか、むしろ残っていますよっていうのを日本全国で見られるっていう一覧表になってたりとか、何か文字の使い分けも自分でこう線を引っ張って確かめようっていうのがあったりとか、なかなかこういういろいろあるっていうのが、光村図書かなって思いました。

○委員長 ありがとうございます。そのほかにございますでしょうか。はい、どうぞ。

○委員 光村図書ですけど、府の選定資料の書写の10ページに硬筆の比較が載ってたんですけど、行書との調和とか、楷書と行書の組合せと違いとか、そういう、もうここでしか学ばないような観点のものが、光村図書は満点で全部丸になっていて。すごい芸が細かいというか、文字っていうところにとってもこだわっているのが分かります。

もう一つは、二次元コードの数が勝負かどうかは分からないんですが、書写みたいに実習の分野でそういう参照ができる資料が豊富なのはいいなと思いました。

○委員長 ありがとうございます。

○委員 光村図書ですけども、個人的にはもう最初に漢字の筆遣いというものを、何ページぐらいあるのかな、30ページ近くあるんですけども、もう取りあえず「書け」みたいなメッセージが、書かなあかんのかなという、私が教師やったら「もう分かるやろう、書かんとうまくならへんで」っていうことは伝えやすいのかなというのは感じました。

○委員長 ありがとうございます。

○委員 教育出版ですけども、全体的に結構こういう字体はこんな日常で使われてますよっていうのがちりばめられているのが、非常に分かりやすくていいなと。

東京書籍も72ページ、73ページにそれぞれ何か誰宛てに書いてあるとか、そういう身の回りの文字の目的とかいうページがあったりとかして、こうやって関連付けてるのが非常にいいなと思いました。

○委員長 ありがとうございます。

大体、今光村図書も結構御意見が多かったんですけども、あと東京書籍、三省堂、教育出版、大体同じような感じなんですけども、特に違っているのは。何かこう感覚的にお子さんにどれがいいかなというの、もしあれば。

○委員 東京書籍の本も後ろのほうに載っている「書写の活用ブック」のところにあった「季節の挨拶」、こういうのっていいよねと思って。意外と季節によって挨拶が、最初に持ってくるあれって全然違うので。あとこの常用漢字表のあれがちょっと見やすいかなと思って。

○委員長 分かりました。漢字表が見やすい。ありがとうございます。

まずは「最もふさわしい」に光村図書、今ちょっと最終的に東京書籍が多いかなと思うんですけども、東京書籍を「最もよい、ふさわしい」にして、三省堂、教育出版を「よりふさわしい」という形でいきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

【美術】

○委員長 続いて、「美術」のほうにいきたいと思います。事務局のほうからお願いします。

○事務局 美術は3社になります。

まず、「開隆堂」からいきます。開隆堂につきましては、単元ごとに学習内容及び製作技法、表現方法がテーマに沿っており分かりやすいといった工夫があります。

続きまして、光村図書です。内容・ボリュームともに安定しており、計3冊ではあるが1冊がまるまる資料集となっており、3年間を通じて使用ができること、副読本を別途購入する必要がないなど、極めて効果的な指導が可能であるといった御意見もありました。

続きまして、日本文教出版です。表紙に学年全体の見出しが掲載されており、年間を通してのテーマの設定が可能といった特徴があります。

分量につきましては、府の選定資料、美術の14ページに記載されております。御参考にしてください。

以上でございます。

○委員長 ありがとうございます。閲覧時間のほう、5分ぐらいでよろしいですか。はい、では5分ということでよろしくをお願いします。

○委員 ごめんなさい。事務局、確認なんですけど、開隆堂は2冊ですね。開隆堂は1と2、3ですね。光村図書が1と2、3と資料というのがついてる。日本文教出版は、1と3冊ですね。2、3上・下ということで3冊ね。

○事務局 はい、1と2、3と2、3で。

(教科書閲覧)

○委員長 5分になりました。御意見のほうを頂戴したいと思います。はい、お願いします。

○委員 光村図書と日本文教出版ですけれども、美術なんかでも動画のことを取り上げているのがこの2社だったので、それがすごく。今はやっぱりいろいろ映像を撮ったりして編集することが多くなってきているので、光村図書でいうと、2・3の74ページから、日本文教出版は、2・3下の52ページから、それで撮り方とかこんなふうにあげようというのを扱っているのがいいなと思いました。

○委員長 ありがとうございます。

○委員 光村図書ですけれども、別冊の資料が技法について書かれているものなので、作品の部分と技法の部分が分かれてるというのが非常に分かりやすいなと思いました。

○委員長 ありがとうございます。ほかにございますでしょうか。はい、お願いします。

○委員 光村図書の報告にあるとおり、やっぱり結構一歩出てるかなという気がします。内容を見て

も多岐にわたってますし、資料も若干多いんですけども、非常に開隆堂もこの表紙も絶対気になるんですけども、すごい難しい。凄く金がかかっているのに前しかできていない。内容的にやっぱり光村図書のほうがいいなと思いました。

以上です。

○委員長 ありがとうございます。

はい、どうぞ。

○委員 今おっしゃっていただいたように、表紙がとにかく開隆堂、かつこいいなと思いました。それと光村図書と開隆堂なんですけど、例えば開隆堂の2年、3年の一番最後のところ、光村図書も3年生の最後にとこで、美術というか、芸術とか創作に対する今後の人生の中で大事にしたいことなんかのメッセージ性がすごいあるなと思いました。ここを読むと子どもにも何か言葉としてね、言葉と美術の、同時に何か響くなど。開隆堂の報告書にも一番最後に「書物としての完成度は高い」って書いてあって、それ以外のところもそういう観点で優れていると言っているのかなと思います。

○委員長 ありがとうございます。そのほかにもございますでしょうか。はい、お願いします。

○委員 光村がやっぱり飽きさせないっていう。2年、3年生の「日本の絵画」を楽しむというのだけ、印刷の紙が違うし、鳥獣戯画も原寸大で載せられてたりとか、それからゲルニカは見開きというの、大きなページにしてその迫力というの。ピカソの思いというの、きちんと伝えていて、やっぱりこういうところは光村図書すごいなと思います。光村図書は、表紙、一番初めも「うつくしい」っていう谷川俊太郎の詩で始まってここだけで終わるのかと思ったら、この詩が美術の2・3の表紙も「うつくしい」というので、一番最後、終わった、学習が終わった最後はやっぱり「うつくしい」という谷川俊太郎の詩が載っていて、一貫したあれかなと。面白いつくりだなと思いました。

○委員長 面白いつくり、はい、ありがとうございます。はい、どうぞ。

○委員 まず光村図書なんですけども、やっぱり何か日本ならではのっていうか、漫画とアニメーションを入れているところが2・3年の50ページから53ページまで。それ、そういうのがあるほうがいいなと思って見てたら、開隆堂なんかは、やっぱりスタートの表紙で最初のところで、1年のとこやったら8ページから新海誠さんが取り上げられてたりとかですね、取り上げられていて、そういう漫画とかアニメーションを取り上げられているところが要所要所にあるのが、どちらの会社もいいなと感じた。

○委員長 では、まとめに入るとよろしいでしょうか。光村図書が一番多かったと思います。次に、開隆堂かなと思いますので、「最もふさわしい」を光村図書と開隆堂、「よりふさわしい」が日本文教という形にしたいと思います。よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

【保健体育】

○委員長 続きまして、「保健体育」のほうにいきたいと思います。では、事務局のほうをお願いします。

○事務局 保健体育につきましては、4社になります。

まず、「東京書籍」からまいります。東京書籍は、「本文の参考資料・図解のバランスがよく、写真とイラストを内容によって使い分けられており、また実生活に学習が生かされるよう、問いに工夫が見られる」といった特徴が見られます。

続きまして、「大日本図書」です。「図やグラフがかなり大きく使用されていて、左ページに文面、右ページに資料と分かれているので視覚的な理解が進みやすい」といった特徴があります。

3社目、「大修館」です。「各単元の内容が細分化されておらず、大きな枠組みの中で数ページにわたって内容がまとめられている」といった特徴があります。

4社目、「学研」です。「本文が分かりやすくまとめられており、学びの段階的な構成がされている

ため、学びの順序が分かりやすい」といった特徴があります。

分量につきましては、府の選定資料、保健体育の20ページに記載されておりますので、御参考にしてください。以上になります。

○委員長 ありがとうございます。保健体育のほう4社ですけれども、4冊ということですので閲覧時間5分でよろしいでしょうか。よろしくお願いします。

(教科書閲覧)

では、5分経ちました。御意見を頂戴したいと思います。はい、お願いします。

○委員 東京書籍です。巻末のスキルブック、これ非常にいいなと思って、すごく使いやすいし、別冊で取っておきたいなっていうぐらい、本当に日常生活に活用できるものなのでいいなと思っています。

○委員長 ありがとうございます。ほかにございますでしょうか。はい、お願いします。

○委員 東京書籍とそれから大日本図書は、1時間の学習の流れが整理されていて、身につける学習課題、課題を解決、活用する、そして広げるっていうのが、見開き2ページでこれ1時間で、この流れでっていうのが非常に分かりやすく書いてあるのかなと思いました。

それから、最後の巻末スキルブックがすごくリラクゼーションから圧迫止血法から、これ見やすいなど。手洗いの方法とマスクのつけ方などがあってとても見やすく分かりやすいなと思いました。

○委員長 分かりました。ありがとうございます。そのほかにございますでしょうか。はい、お願いします。

○委員 東京書籍ですけれども、6ページにこの教科書の使い方ということで、各時間の学習とか章末資料で学習のまとめという感じ、体育の教科書ってただただ見てペラペラ見て終わりというようなことがよくあるんですけれども、こういうふうに使ったらいいよっていうのをまとめて書いてあるのはいいなと思いました。

同じく東京書籍ですけれども、東京書籍だけ体育編を最後に各学年持って行って、要は、保健の授業で特に教科書を使うと思いますので、最初に保健分野をもっていってるのは、いいのかなというふうに感じました。

○委員長 はい、ありがとうございます。そのほかには大丈夫でしょうか。はい、お願いします。

○委員 これは、東京書籍です。2ページ、3ページのところで、東京書籍だけだと思うのですが、デジタル系の保健体育を書いた。今もう社会っていうのは一般的なもので言いますと、もう保健体育だって同じだと思いますし、書いているのは、多分ここしかなかったかなというのは見てましたので、はい、これでいいかなというふうに思いました。

あと学研のほうの、71ページから、2年生のところとかを見ていくと、全部の教科書に入ってるんですけれども、喫煙・飲酒・薬物のきっかけとかっていうのが早い段階で、これ分かりやすいなと思いました。ほかの教科書にも入ってますけれども思いました。あとドーピングはなぜ駄目なのかとか、そういう学研らしく単元末テストもあるので、ちょっとついてるとかいうのがある。はい、そこですみません、お願いします。

○委員長 ありがとうございます。そのほか、ございますでしょうか。

○委員 大日本図書です。はい。各ページを左側が文章、右側が資料というふうにして、非常に子どもたちとしては見やすいんじゃないかなと。最初もやはり見開きのところでも写真がフィルタリングとかあって、すごいそういう資料とか写真というのが充実している教科書だと思います。

○委員長 ありがとうございます。そのほかにございますでしょうか。

○委員 東京書籍です。調査委員も言っているんですけど、各単元、その日学習することの学習課題がすごい的確に分かりやすい形で示されていて内容があって、最後に活用するとか広げるとかいう、子どもの活動に沿って発展的な内容が示されています。とっても広げる課題設定なんかも端的で分かりや

すいです。

○委員長 ありがとうございます。

今のところ東京書籍、すごくいいのかなっていう形でちょっと抜きこんでる感じがするんですけど、あと残り3社、どういたしましょうか。

○委員 私は、東京書籍の、この最後の巻末スキルブックがすごい分かりやすいなと思って。どう対処したらいいのかとかすごい書いてあるし、見てたら、ぱっと見ただけでも、「あっ、こうしたらいいんだ」っていうのがすごい分かるからいいのかなと。

○委員長 ありがとうございます。なかなか本当に工夫されている、ありがとうございます。よろしいですか。

次に多かったのが、大日本図書だったかなと思ってのんですけども、そういう形のまとめでよろしいですか。

東京書籍、それから大日本図書のほうを「最もふさわしい」にいたしまして、大修館それから学研のほうを「よりふさわしい」という形に答申を上げたいと思います。よろしいでしょうか。

はい、ではちょっとですね、時間も大分あれなので5分ぐらい休憩いたしましょうか。どうもありがとうございます。

3時20分ぐらいまで、はい。

(休憩)

(再開)

○委員長 では、皆さんよろしいでしょうか。休憩を閉じて次のほうにいきたいと思います。

あと残りがですね、技術分野、家庭科分野、それからあと英語と道徳ということですので、大分見えてきましたので、残り頑張っていきましょう。すみません、事務局のほうから技術分野、よろしく願います。

【技術家庭（技術）】

○事務局 技術家庭の技術のほうにまいります。

「東京書籍」からです。「技術分野の学習方法が一目で確認できるようになっており、教える順番も段階で分かりやすい構成になっており、作図についての説明も分かりやすい」といった特徴があります。

次に、教育図書です。「図や説明が丁寧で、情報の技術の工夫について調べてやすい」といった特徴があります。

最後に、開隆堂です。「日常的に不可欠な生活を支える技術について簡潔に説明されており、単元における観点の記載が簡潔である」といった特徴があります。

分量につきましては、府の選定資料の技術14ページに記載されておりますので、参照にしてください。

以上でございます。

○委員長 ありがとうございます。では、3社ですので5分間の閲覧でよろしく願いたいと思います。

(教科書閲覧)

○委員長 では、5分経ちました。御意見のほうを頂戴したいと思います。

○委員 東京書籍です。府の資料にもありますように3点ありまして、考えたり調べたり話し合ったりする学習活動を伸ばしている箇所数が95と非常に多い。それと、実習例っていうのも59か所が多いかなと。二次元コードも記載するのに断トツ有利で、物すごく充実しているなと感じました。

○委員長 ありがとうございます。他にございますでしょうか。

○委員 同じく東京書籍ですけれども、16ページから19ページまで技術の見方・考え方というので掲載されてて、19ページの、特に技術の見方・考え方っていうのは、すごく社会性・安全性・経済性・環境への負荷っていうのが小分けされて、こういうふうにかけて見方していったらいいんだなというところは、ガイダンスのページに載っているのは、非常にその後勉強するのに分かりやすいのかなというふうに感じました。

○委員長 ありがとうございます。そのほかにもございますでしょうか。

○委員 東京書籍です。ほかの会社もガイダンスのページ、技術の勉強の仕方みたいなことをまとめられているのが最初のほうにあるんですけど、断トツで東京書籍の学習方法のページが分かりやすいと思います。

それともう一つは、教育図書。これは府の選定資料の15ページに載ってるんですが、情報モラル、知的財産権を使っているページ数がほかの会社に比べて満遍なくちりばめられる、どの分野においても。そこが何か偏りがなくていいかなと思いました。

○委員長 ありがとうございます。そのほかにもございますでしょうか。はい、どうぞ。

○委員 開隆堂なんですけど、最後のところで「技術分野の出口」というページがあって286ページから続いているんですけど、これ非常に面白いなど。先ほど、この技術を進めていくためのガイダンスが前方にあるって。最後はこういうふうに技術分野でどんなふうに今後取り組んでいったらいいのか、社会に出ていくいろんな視点で書かれてあって非常に分かりやすくなっていました。

○委員長 ありがとうございます。はい、どうぞ。

○委員 先にちょっと聞きたいんです。スクラッチってタブレットに入ってたんでしたっけ。

○事務局 生徒、できますね。使えます、はい。

○委員 というと、スクラッチでプログラミングをしようというのは、東京書籍しか載ってないんですね。あとは、「プログラミングをしよう」とかを書いているんですけど、タブレットに入ってるんだしたら、これがこれがあればまさにこれをまねしたらできるのかなという感じを受けました。テクノロジー系と、いわゆる昔から職人さんがやる技術と2つあると思ってて、そのテクノロジーのほうをやっぱり書いてるところが多かったのはこの東京書籍で、いわゆる職人さんたちがするのが、あるのが、多かったのが教育図書でしたか、木の切り方とかそういう系の・・・。

開隆堂もテクノロジーを載せて書いてはるんです。後ろのほうにいろいろと、1番ページ数が載ってるような気がしますけれども、スクラッチになるのが入ってるなら、これを使ったらいいんじゃないかなというふうに思いました。

○委員長 ありがとうございます。どうでしょう。何かありますか。

○委員 私は、開隆堂と、工程が分かりやすいなと思って見てて、どんな分野にも写真つきで載ってて工程がちゃんと分かりやすくなってるのがいいなと思って。

○委員長 分かりやすい構成というか。

○委員 分かりやすいのがすごく1番かな。

○委員長 はい、ありがとうございます。

では、よろしいですか。皆さんから御意見が出たかなと思います。

では、東京書籍と開隆堂、見やすい形の御意見もあったかなと思います。ですので「最もふさわしい」を東京書籍、開隆堂、それから教育図書のほうを「よりふさわしい」という形でしたいと思います。よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

【技術家庭科(家庭)】

○委員長 続いて、「家庭科分野」のほうに移りたいと思います。では、事務局のほうよろしくお願

いします。

○事務局 「技術・家庭」の家庭分野に移ります。全部で3社になります。

「東京書籍」からいきます。東京書籍は学び方として、7ページに思考ツールの活用方法が示されており、「思考の整理・まとめ、交流につながる工夫がある」といった特徴があります。

「教育図書」です。単元の初めに「自立度チェック」があり、自分事として捉える工夫が見られる教科書となっております。

次に、「開隆堂」です。学び方・身につく力が示されており、家庭分野の学習の本質が理解しやすいこと。また、「衣・食・住が同列で扱われている」といった特徴があります。

分量につきましては、府の選定資料、家庭科12ページに記載されておりますので、こちらも参考にしてください。

以上でございます。

○委員長 ありがとうございます。では5分間、閲覧の時間を取りたいと思います。よろしく願いします。

(教科書閲覧)

○委員長 では、お時間となりました。御意見を頂戴していきたいと思えます。

○委員 開隆堂なんですけれども、選定委員の資料にもあるように、他社よりかなり踏み込んだ内容になってて、ここ26ページから37ページに書いてあるんですけど、認知症とか、今ちょっと索引だけ見たんですけど、ヤングケアラーの記載があるのは開隆堂だけかなと。そういう家族という関係とかで、やっぱりそういったところにもしっかり踏み込んで書かれたあるのは、やっぱり大切なと思えますけれども。

○委員長 ありがとうございます。そのほかにもございますでしょうか。

○委員 その話でいくと、教育図書は最初の公約に、いわゆる家族・家庭と地域ってあるんですよ。まだまだ我々この立場なので、ここを最初に14ページとかを見ていただいたらいいんですけども、有名なアニメーションの家族構成を考えさせるところって物すごく入りやすいと思うので、とか、そこに家庭の仕事とかもいろいろ書いて、これを最初に持ってくるというのがなんかすごい好感が持てます。

○委員長 ありがとうございます。そのほかにもございますでしょうか。

○委員 東京書籍と教育図書についてです。

最初に学習の仕方、どこも同じく載ってるんですが、この2つが問題発見・解決のプロセスで子どもたちが意識して勉強ができるようになっていて、子どもどもにここを伝えるというか、こういう取組み方をするんだっていうことを分かった上で勉強させるってすごくいいなと思えました。

○委員長 ありがとうございます。そのほかにもございますでしょうか。

もしよろしければ、分かりやすさというか、そういう観点ではどんな感じでしょうか。

○委員 分かりやすさというか、最初のお正月、1月、2月、3月、4月とかの季節の行事じゃないけど、こういうのがあったりとか、あと乳幼児から幼児・児童期とか、そのときそのときに大切なものというのが、赤ちゃんのときにはこういうのとか、そういうのが載ってるのがいいのかなと思って。心の発達とか幼児の心の発達とか、やっぱり大きくなっていくにつれて発達も全然違うし。

○委員長 教育図書ですかね。

○委員 教育図書です。分かりやすいし、あとは後ろのマークとかラベルがすごい詳しく載ってるかなって、説明が、と思って見てました。

○委員長 ありがとうございます。貴重な御意見ありがとうございます。

そのほかにもございますでしょうか。

○委員 開隆堂、非常に多様性を持ってるのかなっていう気がしました。家族のところも、どこもそ

うなんですけど、ヤングケアラーのところもですけども、個人のルーツや、もちろん支援について77ページに取り上げられていたりとか、結構そういうので多様な話題を取り上げているのかなって思いました。開隆堂は、多様な家族の中に里親の子どもとか、児童養護施設の指導員と子どもとか、そういうこと書いてある。様々な暮らしとか凄く内容が広いなっていう気がしました。

○委員長 ありがとうございます。

では、たくさん御意見頂戴できたのが、教育図書と開隆堂出版ということになりますので、これを「もし最もふさわしい」にさせてもらって、東京書籍のほうを「よりふさわしい」にさせていただきたいと思います。よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

【英語】

○委員長 続きまして、英語になります。はい、では事務局のほうからお願いします。

○事務局 英語に移ります。英語につきましては、6社になります。

東京書籍、NEW HORIZONからです。「1年生では様々な国が使われており、国際理解につながる。2年生では食文化やユニバーサルデザイン、3年生で絶滅危惧の動物や平和、災害における外国人への支援ですとか多岐にわたるテーマが設定されている」といった特徴があります。

続きましては、開隆堂、SUNSHINEです。「写真やグラフなどが大きくて見やすい。また、教材内容や文章、写真、挿絵、図、資料等が人権尊重の視点から配慮されている」といった特徴があります。

続いて、三省堂、NEW CROWNです。「各単元が見通しを持って取り組めるような配置となっており、中にFor self-studyというものがあり、そこが自学自習の役に立つ」といった特徴があります。

続いて、教育出版、ONE WORLDです。「言語の使用場面について生徒の身近なクラスに関わる場面が多く、非常に分かりやすい」といった特徴があります。

次に、光村図書です。Here We Goです。「各単元にゴールが設定されており、伝えあいなどの場面で使用しやすい工夫があります。また、英語の学び方ガイドは自学自習の際に役に立つ」といった特徴があります。

最後に、啓林館、BLUE SKYです。「1年生で環境問題、2年で災害への備えや世界遺産の多様性、3年生で平和やユニバーサルデザイン、気候変動についての題材が取り扱われている」といった特徴があります。

分量につきましては、府の選定資料英語の20ページに記載されておりますので、こちらも参考にしてください。

以上でございます。

○委員長 ありがとうございます。6社で3冊ずつありますので、大体どうしましょう、15分ぐらい、お時間を取りましょうか。よろしいですか。15分取ります。

(教科書閲覧)

○委員長 お時間になりました。御意見を頂戴できたらと思います。

○委員 3社あるんですけども、東京書籍、開隆堂、教育出版ですが、やっぱり1年生の段階で、小学校でここ習ったものですよっていうふうなことが明確に書かれてあって、ここから小学校の復習ですよっていうのが、やっぱり小・中でこうやって連携していく上でしっかりとそういうところを意識して書かれてるところがいいと思いました。

○委員長 ありがとうございます。そのほかにございますでしょうか。はい、どうぞ。お願いします。

○委員 東京書籍、NEW HORIZONの4ページと6ページを開けると、学習の見通しを立てようということで、活動目標がそれぞれのユニットの部分が設定されていて、見開きで見えるようになっ

ていて非常に分かりやすいなと思いました。それから、この東京書籍、NEW HORIZONは、「ダイバーシティメモ」というのがついていて、初めだけかと思ってば一っつと見てたら、結構いろんなところにダイバーシティメモがあって、南アフリカの話であったり、ロンドンにはアジア系、アフリカ系いろんな人がいてるとか、秋田犬の話が載ってたりとか、結構いろんな問題をメモとして載せているのが面白いなと思いました。

それから、最後にはちゃんと、これはどこの出版社もそうですけれども、多様性が認められていることと、カードが・・・、三省堂は50カードっていう。

○委員長 東京書籍ですか。

○委員 ごめんさない。東京書籍。

○委員長 東京書籍ですね。

○委員 新学期なんか結構カードを使って並び替えたりしてるんですけど、それがここにあるっていうのが面白いなと思いました。

○委員長 ありがとうございます。

○委員 もう一つは、開隆堂のほうもスピーキングの完成度を高めましょうって、これ丁寧な展開に説明と、丁寧な展開をしてるかなって、これ各スピーチをさせるのがこの開隆堂で、スピーチをさせるために、導入、展開、まとめっていうふうに分けてます、スピーチが。これ開隆堂がすごいなと思いました。

○委員長 分かりました。ありがとうございます。

○委員 東京書籍と開隆堂です。後ろの、一番後ろにある「CAN-DOリスト」があるんですけども、東京書籍のほうは5観点を項目ごとに分けて詳しくリストが載っているのと、開隆堂のほうは「CAN-DOリスト」は文法ごとになってますかね、そういう違いがあって、どちらも分かりやすいなというふうに感じました。

あと東京書籍のほうは、ページ後ろのほうに、報告書のほうにも記載されてますけど「スモールトーク」という形でヒアリングテストができるようなところがあって、まとめてここにあるのはいいかなというふうに感じました。

○委員長 ありがとうございます。そのほかにもございますでしょうか。

○委員 開隆堂ですけども、各ページにとりどころですね、小学校で学んだ単語とか目次、ページ数ですね、スモールトークということなので、そういうのが自分で学習する上では凄くいい、ヒントになるんじゃないかなと思います。

○委員長 ありがとうございます。保護者の視線で。

○委員 視点で。

○委員長 視点でというよりも、お子さんが分かりやすそうだなと思うような、やっぱり教科書があるかなと思うんですけど。

○委員 教育出版の、先生が使う表現と役に立つ表現から入っていくのはいいのかなと。やっぱりね、先生と子どもで使う表現が違うのも。先生が多分使う表現って、これ多分毎回毎回使うと思うので、こういうのも載ってるのもいいのかなと。

○委員長 教育出版。

○委員長 分かりやすいのかな。

○委員 サイズ的にはどっちがいいんですかね。毎回何か。

○委員 大きいのよりね。

○委員 小さいほうがページ数が多いから、隙間が空くんですよ。1個1個のね、大きいのはなると見やすいんですけど、一気に増えちゃうっていうか細かくなっちゃうとね。どっちがいいでしょうね、

これね。子どもらは。先生方はどちらが使いやすいですか、大きいのと小さいのと。

○委員長 いかがでしょうか。

○委員 関係ないのか。

○委員 教卓もでかいですからね。なんか、やっぱりそういうふうに乗っかるかどうかというのを考えちゃうだけで。

○委員 あとほかの教科書と合わすとかね。違うやつと、子どもらなんかね、形が変やったら入りにくいかいうのが・・・。

○委員 今まで結構ばらばらでした。

○委員 そう困るんですよ。ランドセルに・・・私らの小学校のときは。

○委員 小学校とあって、できるだけ軽さって出てましたね。

○委員 重たいか悩んどったけど。

すみません。教育出版のほう、小さいほうなんですけども、小さいからこそ、文字に余裕があって英語でかいのかなっていう気がして見やすいかなと思います。

○委員長 ありがとうございます。

全体的には、東京書籍、開隆堂が御意見が多くて、あと残り教育出版も次に多いかなと思います。あと三省堂、光村図書、啓林館ってところが少ないんですけども、その辺りまず差別化をするのであれば、御意見。

取りあえず、教育出版は「よりふさわしい」で、あと残りの3社を「ふさわしい」っていう形でも別に構わないんですか。それでしたら、はい、そこまで何か。

はい、では「最もふさわしい」を東京書籍と開隆堂出版。それから「よりふさわしい」を教育出版。あと残り3社を「ふさわしいもの」にして答申に上げたいと思います。どうもありがとうございました。

【道徳】

○教育長 最後に道徳となります。では、事務局のほうからよろしく申し上げます。

○事務局 では、「道徳」は7社になります。まず、「東京書籍」からまいります。東京書籍につきましては、いじめについて教材のユニット化を図り、より深く考えられるよう配慮されている教科書になります。

続きまして、「教育出版」です。「いじめと生命の尊重」を柱とし、特にいじめについては、連続的に取り上げることにより、系統的に考えを深めることができるといった特徴があります。

次に「光村図書」です。人権に特化したユニットを設けることにより、より人権について深く学ぶことができる機会が設けられております。

次に、「日本文教出版」です。いじめや情報モラル、キャリアなどが発達段階に応じて取り扱われるとともに、教材末尾の設問例を通して、より深く考えることができるよう工夫されております。

「学研」です。「多様性やキャリア教育、SDGs等、ユニットでの学習の構成となっており連続した学びが可能であり、効果的に授業が進められる」という特徴になります。

続きまして「あかつき図書」です。いじめや情報モラル、共生教育、キャリア教育等、10個にテーマ化され、構造的・心理的・社会的に考えられるよう工夫がなされており、複数の教材でユニットが構成され、連続して効果的に学ぶことができるようになっているといった特徴があります。

最後に、「日本教科書」です。巻末にウェルビーイングカードが載っており、それを活用することにより、話し合い活動をスムーズに展開できる。またカードを組み合わせることにより、幾つかの視点から自分を見詰め直すことができるといった特徴があります。

分量につきましては、府の選定資料、道徳14ページに記載されておりますので、こちらも参考にしてください。

以上でございます。

○委員長 ありがとうございます。7社ありますので、これも15分、お時間を取りたいと思います。よろしくをお願いします。

(教科書閲覧)

○委員長 はい、お時間になりました。御意見を頂戴できたらと思います。

○委員 あかつき教育図書だけ字体が違うんですね。これ、すごく見やすいなというふうに思いました。

○委員長 あかつき教育。

○委員 あかつき教育図書。

○委員長 あかつき教育図書、はい、分かりました。字体が違うと。

○委員 なんか教科書が軽い気もするんですね、あかつき。同じ、紙の質が違うのかな。凄く軽く感じます。

○委員長 ありがとうございます。字体が違うっていうか、見やすい、読みやすい。

そのほかにもございますでしょうか。

○委員 あかつき図書なんですけれども、今旬で活躍されてるスポーツ選手の題材が多いので、生徒は学習しやすいのかなというふうには感じました。大谷翔平とか、「二刀流をずっと挑戦し続ける」とか、そういうことは子どもらには身近な話で、今取り上げて分かりやすい教材かなというふうに感じました。

○委員長 ありがとうございます。そのほかにもございますでしょうか。はい、お願いします。

○委員 日本教科書です。全部のページに余裕があって見やすくていいかなと。凄くスペースが大きくしてあるので、見るには見やすいかなと思いました。後ろのページの報告にもありましたけども、ウェルビーイングカードっていうのが、みんなで話が盛り上がるんじゃないかなというふうに思いました。

それと、東京書籍ですけども、これは3年生の73ページにあるんですけども、地域のことについて避難所のことを書いてあるんです。これ、結構私たちが力を入れてるところなので、中学生の力つてものごくやっぱり大事なので、中学生が体育館で頑張ってもらっているというのは、本当に力を入れてるところですので、これの記載がっていうところです。

○委員長 ありがとうございます。

○委員 それとですね、これ全部のものなんですけど、戦争について書いているところないですよ。戦争のことについて。これは何で書いてないんですかね。書かないということなんですか、それ。

○委員 それはない。

○委員 ただ、修学旅行っていったらね、そういう悲惨なところへ行って学習してきて道徳だつてやってるんだけど、教科書には戦争の悲惨さをうたってるやつがないんですよ。何でやろうね。そこは何か矛盾とも言いませんけど、せっかく子どもたちそういうのを外で勉強してきているのに。

○委員長 そうですね。

○委員 ましてや、今一番そういうことが行われていることなので、そこはしっかりできたらなと思いますけど。でも、それは道徳の時間ぐらいしかないでしょ、先生方、学校で。ほかの授業でそれをやるっていうことはないでしょう。

○委員 総合ですかね。時間としたら、総合の時間。

○委員 そういう、何でもできるやつか。

○委員 あえて入れてないような気がします。

○委員 そうですね。すごい周りの国に配慮してるような感じがしますね。例の国史じゃないですけど

ど、あまりにも周りに配慮し過ぎて、ぼやっとした感じになってる。いじめが駄目ってあんなんばっかりに走ってるような気がします。

日本文教出版ですけど、このおまけがついてるんですね。どの学年も。ただね、中とこれとリンクしてるんですけど、右と左開きなんです。だからすごい使いにくい。あるときはこっち開け、あるときはこっちに置き換えてやるということなので、ちょっとなんか何でやろうと思いました。

○委員長 ありがとうございます。

○委員 ちょっと友達と協働で勉強するにはっていう観点で見てみたんですけど、あかつきと光村図書の「やってみよう」とか「マイプラス」っていうコーナーが中でもよかったなと思います。光村図書のほうの「やってみよう」は、やってみようっていう、何て言うんやろう、そういう学習のページだけちょっと横書きになってたりして、ちょっとした活動の部分とじっくり読み物を読んでる部分と区別されている感じが分かりやすいです。「マイプラス」のあかつきのほうは、「やってみよう」の課題の内容が単なるロールプレイだけじゃなくて、考えながら友達と話し合ったりできるような内容になってると思います。

○委員長 ありがとうございます。そのほかにもございますでしょうか。

○委員 学研、多様な表現方法というか、1年生なんかを見てたら、エルトゥール号の遭難は、絵で表していて、普通の文章のところもあれば漫画にしているところもあって、その内容によってというか、結構いろんな表現方法で書いてある。「らしさって何だろう」というところは漫画なんです、というのが、ちょっと面白いなと思いました。どこの出版社も本当に今話題の人というか、みんなが知ってるような人を取り上げてるなっていうのが多いんですけど、学研は、「深めよう」というページがあって、「考えよう」とはさらに、問題をもともと考えようというのはあるんですけど、それをさらに深めようっていうことで、「話し合おう」というのがここにあって、このページ、1ページあるだけで何かちょっと違うかなっていうのを思いました。

○委員長 そのほか、何か御意見ございますでしょうか。御意見がございましたら。

○委員 光村図書が開いたら、何だろう、友達と話し合ったり考えたり演じたりとか、あと「道徳で学ぶ」22のキーワードとか、あとはこの道徳の道案内で項目ごとに何について考えるとかか書いてあるのも分かりやすいのかなって。

○委員長 教科書はどの、光村図書ですか。

○委員 光村図書。

○委員長 光村図書、はい、はい。

○委員 「道徳の道案内」もなんかすごい面白いなと。

○委員長 ありがとうございます。

今、御意見の中では、あかつきが一番多くて、次が学研ぐらいかないかなと思ってるんですけども、あと光村図書とか東京書籍も、それから日本教科書も。そろそろまとめてもよろしいですか。

では、「最もふさわしい」があかつきと学研という形で、続いて「よりふさわしい」、これは2冊にしなきゃいけない。3冊とかでもいい、3冊でもいいですか。

(発言する者あり)

○委員長 分かりました。3冊だったら、東京書籍、光村図書、日本教科書でいけるかなと思うんですけど、それでもよろしいですか。はい、それで答申をしたいと思います。ありがとうございます。

以上で、全ての教科が終わりました。本当に皆様、2日間にわたってどうもありがとうございました。

最後に、委員のほうから御挨拶をいただきたいと思います。

○委員 では、長時間にわたりまして、2日にわたりまして、選定作業を熱心に取り組んでいただきまして誠にありがとうございました。

教科書の採択は、最終的には教育委員会で行われるんですけども、皆様お一人お一人から様々な視点からの御意見を頂戴できまして、我々といたしましても公正かつ適切な選定作業ができたのではないかと考えております。これも委員の皆様のお力添えのたまものと改めて感謝を申し上げます。本日も本当にどうもありがとうございました。

○委員長　ありがとうございました。

これで終わりたいと。事務局のほうから最後。

○事務局　では以上をもちまして、令和6年度第3回守口市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会を終わります。

委員の皆様、この間、どうもありがとうございました。